

2022年度 「正会員に対する活動助成」活動報告書

(ふりがな) 団体名	いっぽんしゃだんほうじんぐんまけんしゃかいふくししかい 一般社団法人群馬県社会福祉士会
---------------	--

■活動報告の詳細

活動名称	委員会等活動の活性化及び組織率向上に向けたオンラインシステム活用
活動の目的	- 課題に向き合える組織運営 研究や自己研鑽に取り組みたい会員が自発的に参集・組織化できるよう、委員会の構成と運用方法を見直し、社会貢献につなげる。 - 現会員の参加促進 各会員が、関心の高い社会課題や興味のある分野・テーマについて学べる機会を積極的につくり、多くの会員が参加できるよう工夫する。 - 新規会員の獲得 委員会活動や研修・行事が活発化することにより、非会員の有資格者の関心を引き寄せ、入会する人が増えるよう、適時的確にアプローチする。
実施した活動の内容 会議・研修会・イベント等の開催日時、場所、参加者数等の活動内容の詳細を記入 ※別添（様式自由）にて提出可	- 委員会・地区協議会の組織運営の見直し 中長期計画実行ワーキング会議で協議を進め、組織改編を行った。 ・ワーキング会議… 年5回（5月、6月、7月、10月、11月） ・現委員会等の現状調査（評価）… 7月～9月 ・組織改編内容確定… 11月（施行は令和5年度から） - 現会員の研修参加・会活動参加促進 ① 参加しやすい研修会等の開催及び運営サポート ・TEAM オンラインによる研修サポート… 中毛地区協議会主催研修 12月 ・TEAM オンライン主催研修… 「福祉とLGBTQ」3月 ② 会員の参加を促す情報発信のしくみづくり ・キントーン及びメールワイズによる登録… 160名登録 ③ 会員同士の交流を活発にするプラットフォーム構築 ・LINEWORKS 登録… 41名登録 ・現在、非営利団体向け特別プランへの移行手続き中 - 非会員の有資格者との接点づくり ・「福祉とLGBTQ」研修の第二部で意見交換会を開催 ・参加者へのメール配信準備（実施はこれから） 1～3のハブとなるウェブサイトの構築 ・会活動を動的に見せるために、タイムリーに投稿できる工夫 ・閲覧者がタイムリーにアクセスできるよう、スマホ優先デザイン採用

活動の成果

1 委員会・地区協議会の組織運営の見直し

【成果】新たに活動を始める会員の「受け皿」の拡充

委員会組織再編の議論を進めるなかで、新たに活動を始める会員の受け皿の拡充について時間をかけて議論し、その結果、新たに次の2つの枠組みをつくることができた。

(1)「分野別委員会」の新規設置

「高齢福祉」「障害福祉」「児童福祉」「人権・地域福祉」の4分野の委員会を設置することで、活動したいと自発的に思った会員が“一次的に”所属する場を設けた。

(2)「公認団体」立ち上げの仕組みを構築

自ら研究したい分野を掲げ、会員数名で団体をつくり、それを理事会が承認することで、会の名称を冠して活動することができる「公認団体」という枠組みを新たに設けた。

2 現会員の研修参加・会活動参加促進

【成果①】会運営に会員が自発的にかかわる仕掛けづくり

上記1の議論に参加するワーキングチームメンバーや、基礎研修運営スタッフやファシリテーター、またオンライン化を進める「TEAM オンライン」チーマーなどを、会員向けに公募し、会運営に関心を寄せるきっかけづくりに注力した。

- ・ワーキングチーム… 会員から8名参加
- ・基礎研修運営スタッフ・ファシリテーター… 会員から20名協力
- ・TEAM オンライン… 会員から15名登録

【成果②】魅力ある研修をオンラインで実施、参加者の裾野を広げる

過去に好評だった講師の研修をオンラインで実施、また今まで採り上げたことのないテーマで研修を企画することで、参加者層の裾野を広げることができた。

- ・中毛地区協議会主催「『家族だから仲が良くてあたりまえ』という幻想を解く」…12月3日開催、会員25人、その他60人参加
- ・TEAM オンライン主催「福祉とLGBTQ」…3月18日開催、会員40人、その他27人参加

※ただし、どちらの研修も「その他」は県外の人が多く、狙いだった「非会員の社会福祉士」にリーチできたのは数名ほどだった。

【成果③】会活動を円滑に推進するコミュニケーションツール活用

上記の組織見直し会議や研修企画、参加促進などさまざまなコミュニケーションを的確にスケジューリングし、円滑に進められるように、「キントーン及びメールワイズ」並びに「LINEWORKS」を導入した。

- ・メール配信登録… 160名 →今後、全員登録を目指す
- ・LINEWORKS 登録… 41名 →今後、会員の2割程度の登録を目指す

3 非会員の有資格者との接点づくり

【成果】「福祉とLGBTQ」研修・第二部で意見交換会を開催

福祉専門職に限定して、LGBTQについて深掘りする意見交換会を開催し、社会福祉士会が社会課題に向き合っている取り組みをアピールすることで、会に関心を寄せてもらえるよう工夫した。

今後、研修参加者へのメール配信等でのアプローチ、また下記ホームページリニューアルで入会促進を前面に出すことにより、「研修等参加→入会案内」への導線を確実に作り、積極的に取り組みたい。

4 1～3のハブとなるウェブサイトの構築

【成果】会の活動を動的に見せ、参加を促すための工夫をした

ホームページ閲覧のターゲットを一般県民から「現会員」及び「非会員の社会福祉士や福祉関係者」に絞り、各委員会等の活動をタイムリーに投稿するなど活動を“動的”に見せる工夫や、またスマホ優先デザインで閲覧者がタイムリーにアクセスできる工夫をした。

活動実施を通じての課題 実施していく中で、見えてきた活動遂行における課題	1 会員の「自主性・自発性」を大切にしたい運営を心掛ける 会員制当事者団体（職能団体）において、その存在意義を発揮するためには、会員が自主的に・自発的に参加し、自ら社会貢献していくことが重要であると考えている。 会員の自主性・自発性を促すために、積極的に会活動に参加するメンバーを、パレートの法則でいえば、集団の2割程度（700人会員であれば140名）、さらにその中でのリーダーを2割（28名）育てる必要がある。現状からは程遠く（LINEWORKS登録者41名→140名目標）、今後はリーダー育成のための取り組みが急務であると感じている。 <今までの活動の整理> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自発性</th> <th>ファシリテーション</th> <th>ファンドレイジング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019年</td> <td>理事“有志”</td> <td>ホワイトボードミーティング ひたすら発言を“意識”</td> <td>ポジショニング明確化 自団体の潜在力分析</td> </tr> <tr> <td>2021年</td> <td>会員“有志”</td> <td>「分科会」形式 委員会活動／人材養成／組織運営 ＜＜関心あるテーマで分かれて、共感&仲間感を醸成＞＞</td> <td>潜在的協力者の発掘</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>（理事会）</td> <td>構造化のスキル 曖昧な部分を小さく絞って明確化し、認識を揃えていく</td> <td>共感メッセージカビジョニングワークショップ 自分事として捉えてもらうための工夫</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>会員“有志”</td> <td>「円卓会議」模倣 「聞くだけ」でも大歓迎 人数制限なし</td> <td>コミュニケーションツールの活用 関わり度の階層化</td> </tr> </tbody> </table>		自発性	ファシリテーション	ファンドレイジング	2019年	理事“有志”	ホワイトボードミーティング ひたすら発言を“意識”	ポジショニング明確化 自団体の潜在力分析	2021年	会員“有志”	「分科会」形式 委員会活動／人材養成／組織運営 ＜＜関心あるテーマで分かれて、共感&仲間感を醸成＞＞	潜在的協力者の発掘	2022年	（理事会）	構造化のスキル 曖昧な部分を小さく絞って明確化し、認識を揃えていく	共感メッセージカビジョニングワークショップ 自分事として捉えてもらうための工夫	2022年	会員“有志”	「円卓会議」模倣 「聞くだけ」でも大歓迎 人数制限なし	コミュニケーションツールの活用 関わり度の階層化
		自発性	ファシリテーション	ファンドレイジング																	
2019年	理事“有志”	ホワイトボードミーティング ひたすら発言を“意識”	ポジショニング明確化 自団体の潜在力分析																		
2021年	会員“有志”	「分科会」形式 委員会活動／人材養成／組織運営 ＜＜関心あるテーマで分かれて、共感&仲間感を醸成＞＞	潜在的協力者の発掘																		
2022年	（理事会）	構造化のスキル 曖昧な部分を小さく絞って明確化し、認識を揃えていく	共感メッセージカビジョニングワークショップ 自分事として捉えてもらうための工夫																		
2022年	会員“有志”	「円卓会議」模倣 「聞くだけ」でも大歓迎 人数制限なし	コミュニケーションツールの活用 関わり度の階層化																		
※貴法人のホームページでの公表は必須となります。 →ホームページリニューアル直後で現在未掲載。今後掲載予定。 情報の公開方法（複数選択可） ☐ 広報誌・会報誌等で公開 ☒ その他 (6月総会で成果報告する)																					
活動の実施状況・実施結果に関する情報の公開 あてはまるものにチェックと内容詳細を記入ください																					

<群馬県社会福祉士会・中長期計画実行プロセス>

委員会・地区協議会の活性化に向けた「状況調査」について

回答へのご協力をお願いします（回答メ切:9月12日）



群馬県社会福祉士会発足 30 周年を機に動き出した「中長期計画」。掲げた目標は次の3つです。

この計画の目標

- 「仲間1000人計画」有資格者の加入率25%を目指そう！
- 「学び100%実行」研修やイベントに全会員が年1回以上参加しよう！
- 「社会を動かす組織力」会員の2人に1人以上が委員会や地区協議会の活動に参加して、社会の課題に率先して向き合える組織にしよう！

これらの目標の中で、「委員会・地区協議会活動の活性化」を喫緊の課題と位置づけ、2023（令和5）年度に何らかの活性化策を実行に移したいと考えています。

この1～2年は新型コロナウイルス流行の影響で思うように活動できず苦慮なされた場面も多かったと思いますが、そのことも含め、これまでの振り返りとこれからの活動について、状況をぜひお聞かせ下さい。

一般社団法人群馬県社会福祉士会 理事一同
中長期計画実行ワーキングチーム

【状況調査】

▼別紙「群馬県社会福祉士会 委員会・地区協議会等組織の状況調査票」にご記入のうえご提出下さい。

令和4年9月12日(月)までに、Eメールで調査票をお送りください。

>>回答先 Eメール… info@gunma-csw.or.jp (群馬県社会福祉士会事務局あて)

▼各委員会・地区協議会において、メンバーの皆さんとご協議のうえ、ご回答下さい。

【説明会の開催】

▼令和4年8月2日(火) 19時～20時、zoom にて、この状況調査に関する説明会を開催します。

(アディショナルタイム+30 分で意見交換・交流等もできたらと思っています。)

▼調査内容のほか、現段階の委員会等活動の活性化策の案についてご説明します。

【お問合せ先】

一般社団法人群馬県社会福祉士会事務局 (TEL 027-212-8388)

本件に関する担当理事・星野久子 (職場:群馬県共同募金会事務局 TEL 027-255-6596)

群馬県社会福祉士会 委員会・地区協議会等組織の状況調査票

委員会・地区協議会等組織名	
---------------	--

I・基本情報

①この委員会等組織の役員（正副委員長、正副会長など） ・正の役名及び氏名 ・副の役名及び氏名
②この委員会等組織の活動目的 (どんな分野の何に寄与するか、会の何を担うか、誰のためか、何をするか…など)
③この委員会等組織の参加対象・主な参加分野 (どんな分野の社会福祉士が参加しているか、どんな分野からの参加を想定しているか…など)
④現在の委員等メンバーの数(委員数、実際の活動参加者数) ※わからない場合は空欄可 ・委員数 人 ・活動者数 人
⑤過去の委員等メンバーの数の最大値と時期 ※わからない場合は空欄可 ・最大値 人 ・時期 年度ごろ
⑥過去の委員等メンバーの数の最小値と時期 ※わからない場合は空欄可 ・最小値 人 ・時期 年度ごろ

II・情報化の状況

①委員等メンバー間の連絡手段							
郵送	電話	FAX	Eメール	LINE	facebook	LINEWORKS	slack
その他							
②活動に関する情報発信手段(この委員会等組織の外に向けた発信)							
士会の広報誌		チラシ配付		ホームページ掲載		SNS発信	
その他							
③今後活用したい情報共有手段							
Eメール	LINE	facebook	LINEWORKS	slack	Googleワークスペース		
その他							

Ⅲ・現在の活動状況

会議開催回数(令和3年度実績、4年度予定)	3年度 回	4年度 回
研修開催回数(令和3年度実績、4年度予定)	3年度 回	4年度 回
令和元年度以降の活動で新たに繋がった人の数(会員非会員問わず) _____ 人 (例えば研修会に参加してくれた人、新たに委員になってくれた人、講師、メンバーの紹介で会議に顔を出してくれた人…など)		
今までの活動の中で得られた具体的な成果とその時期、それに対する自己評価 (ネットワークをつくった、報告書を作成した、相談が増えた…など)		

Ⅳ・今後に向けて

①この委員会等組織の外向き(対外的)な課題
②この委員会等組織の内向き(運営等)の課題
③今後取り組みたいこと
④上記①～③について、必要な協力・スキルなど(具体的に) 例)ファシリテーション、IT、調査・統計・分析、企業の社会貢献、ファンドレイジング、学生やNPOとの協働…など
⑤中長期計画に対するご意見(委員会としてどう向き合うか等)、ご自由にお書き下さい。

※この調査票は、委員会等組織のメンバー同士で話し合った内容でご回答下さい。

※すべての設問に回答しなくても構いません。「わからない」ということも含めて現状を確認するための調査です。

※この状況調査票の回答内容は、理事会、中長期計画実行ワーキングチーム、各委員会等組織間で共有します。

群馬県社会福祉士会の組織外や、組織内であっても上記以外の会員等へは原則として公開・提供はしません。

(委員会等が特定されない統計情報として公開・提供することはあり得ます。)

2022年9月12日(月)

までにご回答下さい。

<群馬県社会福祉士会・中長期計画実行プロセス>
 委員会・地区協議会の活性化に向けた「状況調査」 回答まとめ（2022.09.26時点）
 ※各回答はこちらからダウンロードしてご覧ください。
<http://dtbn.jp/OhlTOjNR> （データ便）10月24日まで

【回答状況一覧】

	現委員数	過去最大	会議開催	研修開催	新規参加
1 本会の運営に関する委員会					
総務委員会					
広報委員会					
ホームページ管理運営委員会	10人	10人	3回	0回	1人
2 本会の事業に関する委員会					
権利擁護センターぱあとなあ群馬	17人	現活動者数 156人	6回	19回	—
生涯研修センター	22人	22人	3回	21回	—
災害支援委員会	12人	12人	10回	1回	5人
3 本会の事業に関する委員会及び研究会等					
地域包括ケア研究委員会	4人	15人	0回	0回	0人
ユースセッション委員会	9人	—	0回	0回	—
ソーシャルワーク研究委員会	8人	20人	7回	2回	—
子ども福祉専門委員会	15人	—	5回	3回	—
多文化共生ソーシャルワーカー委員会	4人	6人	3回	0回	6人
スクールソーシャルワーク研究委員会	6人	10人	3回	2回	5人
社会福祉士実習指導者養成支援研究委員会	—	—	5回	2回	55人
ハンセン病福祉研究委員会	5人	15人	—	—	—
リーガルソーシャルワーク委員会	15人	—	7回	1回	—
4 地区協議会					
中毛地区	—	—	10回	1回	10人
西毛地区	4人	5人	4回	3回	20人
北毛地区	10人	—	4回	3回	46人
東毛地区	20人	—	8回	0回	20人

※「会議開催」「研修開催」については、R3年度又はR4年度で大きい方（又は確実な方）を掲載しました。

※北毛地区・東毛地区の「現委員数」は、「活動者数」として回答いただいた値を掲載しました。

【成果と課題】

	成 果	課 題
総務委員会		
広報委員会		
ホームページ管理運営委員会	HP 制作や SNS 活用、講座等を通じて会員の IT スキル向上に貢献	有効活用を図るため広報委員会との協働が必要
権利擁護センター ばあとなあ群馬	意思決定支援や利用促進助言等、成年後見制度での社福士の信頼度向上	センター事務局体制、相談体制の強化。委員増強と活動会員のフォロー
生涯研修センター	運営体制の再構築。基礎研修のオンライン化による受講者増	基礎研修以外の研鑽研修の企画実施 福祉系大学との連携、学生の参加
災害支援委員会	災害支援ガイドライン、災害支援マニュアルを作成。会員向け研修会企画	「協力員」の募集や適時の情報発信を行うためのツール作り
地域包括ケア研究委員会	家族支援の課題、児童虐待防止への政策提言などをテーマに話し合った	会を発足した統括から指示がない この会を継続していくのか不明
ユースセッション委員会	SWD の3土会研修会発足、HP 委員会発足などに大きく貢献	新入会員の受け皿として必要な組織だが、現委員での存続は困難
ソーシャルワーク研究委員会	R3～現在の委員になり運営円滑化。新卒者座談会、外部向調査研究開始	対象者種別やニーズに合ったテーマ設定や広報の実施。委員の募集。
子ども福祉専門委員会	児相や施設の職員から学ぶ勉強会や施設見学会の実施。会員の参加促進	この委員会に対する期待・研修ニーズの把握。他分野他職種への貢献。
多文化共生ソーシャルワーカー委員会	相談支援(1回)、外国籍の方と交流(1回)、会員同士の交流	外国人コミュニティへの参加とニーズ把握。ソーシャルアクション
スクールソーシャルワーク研究委員会	教育現場(学校)の組織や仕組み、課題の理解。業務従事者の課題共有	非会員の活動参加。SV の機会確保。家庭教育支援チームへの参加
社会福祉士実習指導者養成支援研究委員会	2011 年から県内に多くの実習指導者が養成された。	ソ教連との連携が不十分。学生向け発信、群馬版実習プログラム出版等
ハンセン病福祉研究委員会	啓発用 DVD 制作普及。学校等での人権教育講演会、出前講座等実施	人権擁護活動必要。会員活動は停滞。高齢の元患者との交流は対面重視
リーガルソーシャルワーク委員会	「つなごうネット」のチームの中で社会福祉士の役割が見えてきた	“ネット”と“委員会”の区別。社会福祉士だけの定例会開催と成果報告
中毛地区	この数年、家族問題をテーマに研修実施。広く参加を呼びかけられた	情報発信。Web 研修スキル向上。他地区連携。非会員の参加きっかけ
西毛地区	勤務型、独立型等の様々な分野で活躍する土の取組を学べた	地域住民対象の相談会実施。コロナ禍での交流の維持。オンライン活用
北毛地区	成年後見制度説明相談会実施。福祉講演会、施設見学会など毎年開催。	地域課題解決支援。会員向け相談支援の充実。中断中のイベントの再開。
東毛地区	長年活動停滞。R2 から zoom 交流開始で復活。新たな会員交流に寄与	他地区との交流。集合形式での交流。会員からの意見や要望の収集。

xxxxxxx of the member, by the member, for the member.

会員の 会員による 会員のための「〇〇〇〇〇」 ～課題に気づき、自ら動き出す人を 応援する会になるためのアクション～



オンライン名刺交換

一般社団法人群馬県社会福祉士会 副会長 小川 貴之



自己紹介

まずは自己紹介させていただきます。

氏名：小川貴之（おがわたかゆき）

オーストリア・ウィーン生まれ
ピアノの英才教育を受けるが、才能開花せず（笑）

昭和54年3月5日生まれ

うお座、A型

性格：やや几帳面で、やや引っ込み思案

座右の銘：我が生涯に一片の悔いなし！



自己紹介

【学歴】

桐生市立昭和幼稚園
桐生市立昭和小学校
桐生市立昭和中学校
群馬県立前橋商業高校(商業科)
国際医療福祉大学(医療福祉学科)
某大学院

【資格】

社会福祉士、(主任)介護支援専門員
ボランティアコーディネーション検定3級
カラーコーディネーター3級 など



自己紹介

【職歴】

- ・特別養護老人ホーム(介護員)
- ・前橋市在宅介護支援センター(相談員)
- ・居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)
- ・前橋市地域包括支援センターブランチ(相談員)
- ・在宅医療介護連携センターきりゅう←イマココ

【所属団体】

群馬県社会福祉士会 副会長
群馬県医療ソーシャルワーカー協会 広報委員
群馬県介護支援専門員協会
終活カウンセラー協会 など

目次

1

社会福祉士会とは...

2

群馬県社会福祉士会の歴史

3

いつ変わるの？



1

社会福祉士会とは…

職能団体とは

職能団体(しょくのうだんたい)とは、専門的資格や技術や知識を持つ**専門職の従事者**らが、自己の専門性の維持・向上、専門職としての待遇や利益を保持・改善したり、専門職同士の親睦や互助を行なったり、専門職の団結による**社会的提言**や**社会貢献**、研究などの活動を行うための組織である。利益団体の一種である。

群馬県社会福祉士会とは

定款第3条(目的)

当法人は、社会福祉士の倫理を確立し、専門的技術を研鑽し、社会福祉士の資質と社会的地位の向上に努めるとともに、社会福祉の援助を必要とする群馬県民の生活と権利の擁護及び社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

2

群馬県社会福祉士会の歴史

群馬県社会福祉士会の歴史

会の概要

群馬県社会福祉士会の歴史を紹介をします。

昭和62年5月26日	社会福祉士及び介護福祉士法制定
平成元年3月26日	第1回社会福祉士国家試験実施（群馬県1名合格）
平成2年3月31日	第2回社会福祉士国家試験合格発表（群馬県1名合格）
平成3年3月31日	第3回社会福祉士国家試験合格発表（群馬県9名合格）
平成4年2月1日	第1回合格者船津氏より10名の県内社会福祉士に対して情報交換の呼びかけがなされ、9名が集い群馬県社会福祉士会設立の意向が確認される
平成4年3月7日	群馬県社会福祉士会設立準備会の開催
平成4年5月16日	群馬県社会福祉士会設立総会
平成5年1月1日	ぐんま社会福祉士会ニュースの発刊開始
平成5年1月15日	日本社会福祉士会設立
平成5年5月15日	群馬県社会福祉士会設立1周年記念総会 設立1周年記念パーティー
平成5年9月1日	群馬県社会福祉士会「会報」創刊号発行
平成8年4月1日	日本社会福祉士会社団法人認可
平成8年5月25日	群馬県社会福祉士会設立5周年記念講演会・祝賀会
平成14年5月25日	群馬県社会福祉士会設立10周年記念式典 記念講演会・記念パーティー
平成14年10月25日	10周年記念誌の発行
平成20年10月18 ～19日	全国統一研修（関東甲信越ブロック）開催
平成21年3月12日	一般社団法人群馬県社会福祉士会設立社員総会

平成4年5月16日	任意団体設立総会
平成5年1月1日	社会福祉士会ニュース発刊開始
平成8年5月25日	設立5周年記念講演会・祝賀会
平成14年5月25日	設立10周年記念式典・記念パーティー
平成14年10月25日	10周年記念誌の発行
平成21年3月12日	一般社団法人設社員総会

さて、これからの群馬県社会福祉士会は… Coming soon

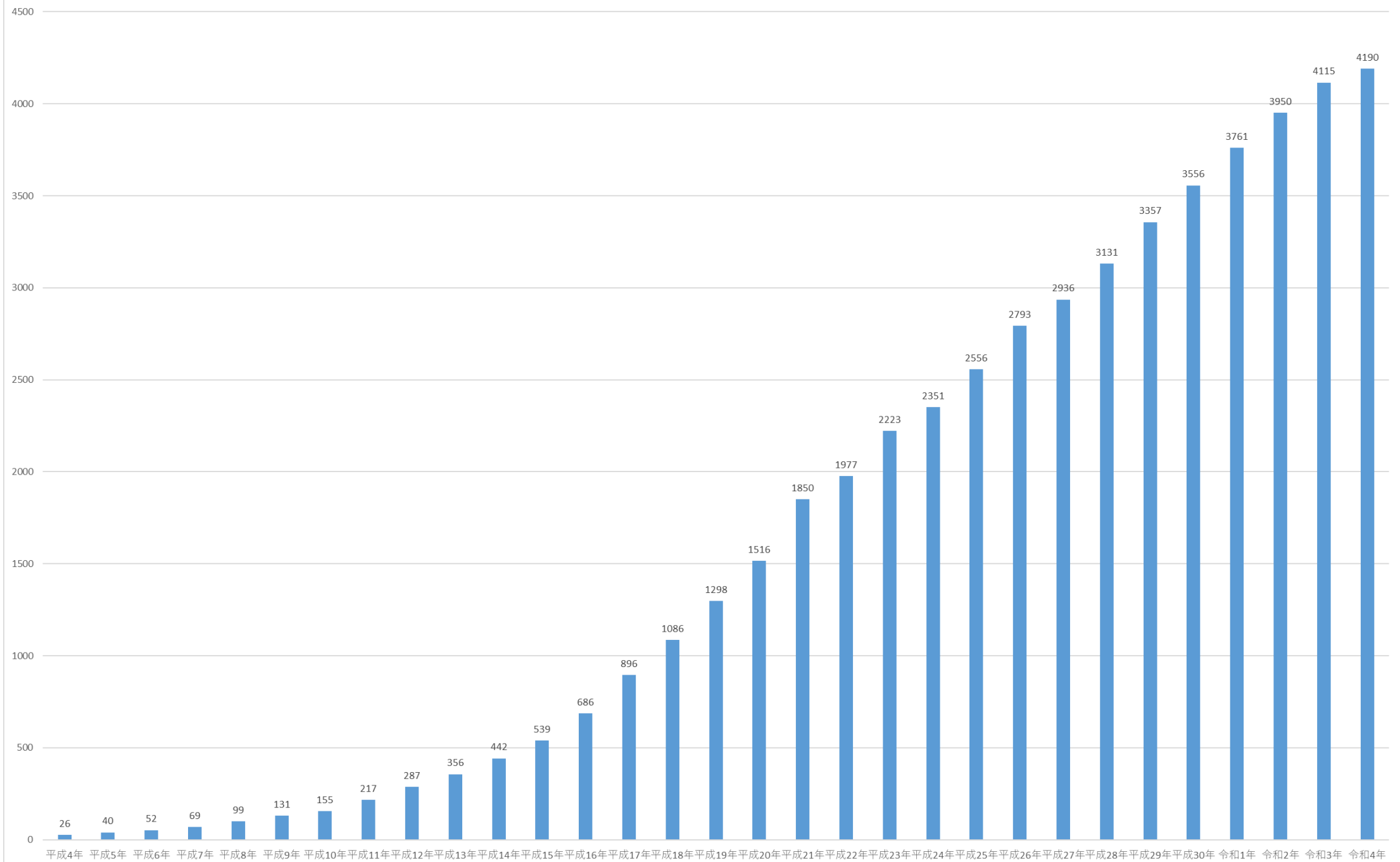
社会福祉士の人数

平成4年	26
平成5年	40
平成6年	52
平成7年	69
平成8年	99
平成9年	131
平成10年	155
平成11年	217
平成12年	287
平成13年	356

平成14年	442
平成15年	539
平成16年	686
平成17年	896
平成18年	1086
平成19年	1298
平成20年	1516
平成21年	1850
平成22年	1977
平成23年	2223

平成24年	2351
平成25年	2556
平成26年	2793
平成27年	2936
平成28年	3131
平成29年	3357
平成30年	3556
令和1年	3761
令和2年	3950
令和3年	4115

群馬県における社会福祉士登録者数



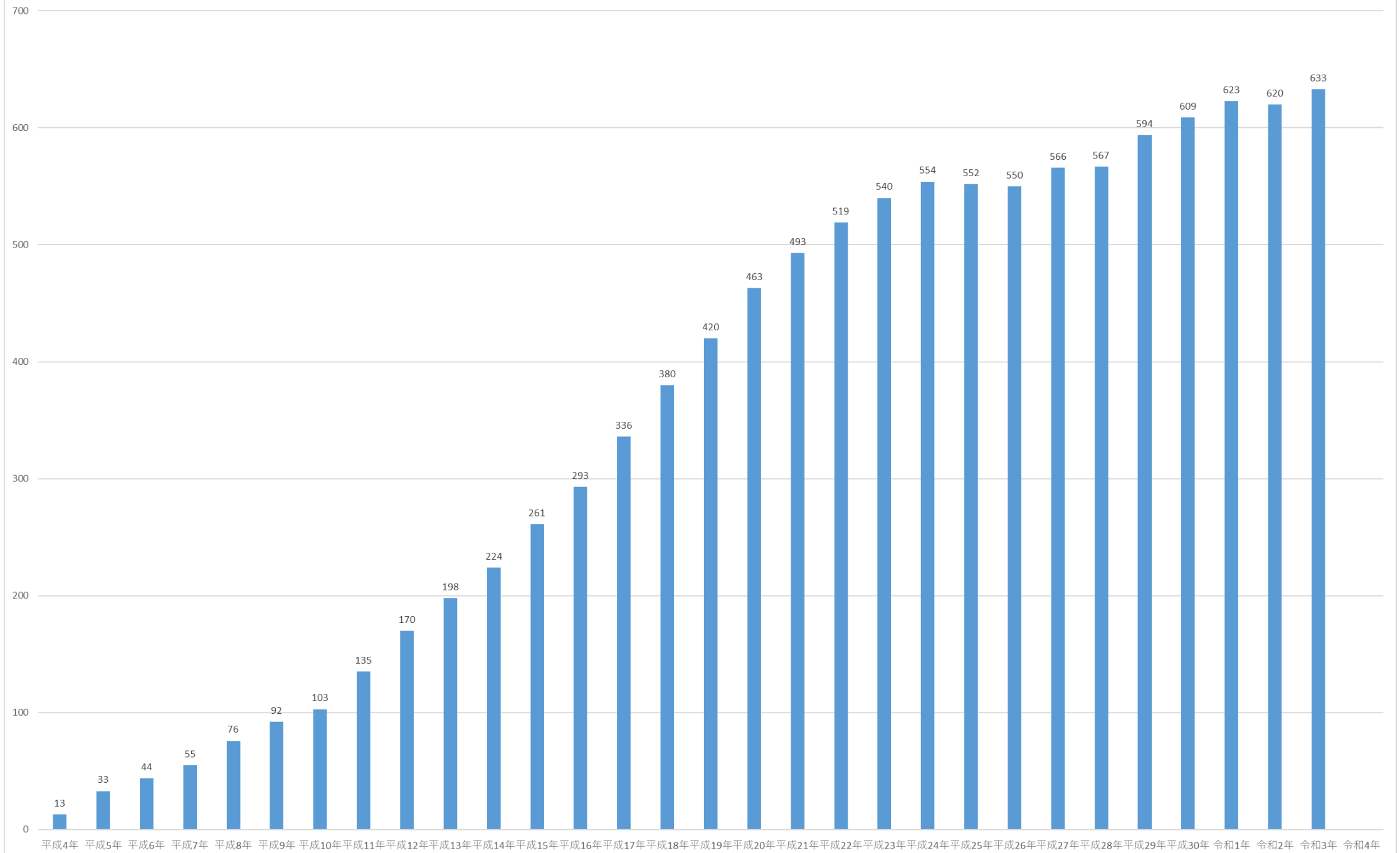
群馬県社会福祉士会の会員数

平成4年	13
平成5年	33
平成6年	44
平成7年	55
平成8年	76
平成9年	92
平成10年	103
平成11年	135
平成12年	170
平成13年	198

平成14年	224
平成15年	261
平成16年	293
平成17年	336
平成18年	380
平成19年	420
平成20年	463
平成21年	493
平成22年	519
平成23年	540

平成24年	554
平成25年	552
平成26年	550
平成27年	566
平成28年	567
平成29年	594
平成30年	609
令和1年	623
令和2年	620
令和3年	633

群馬県社会福祉士会会員数



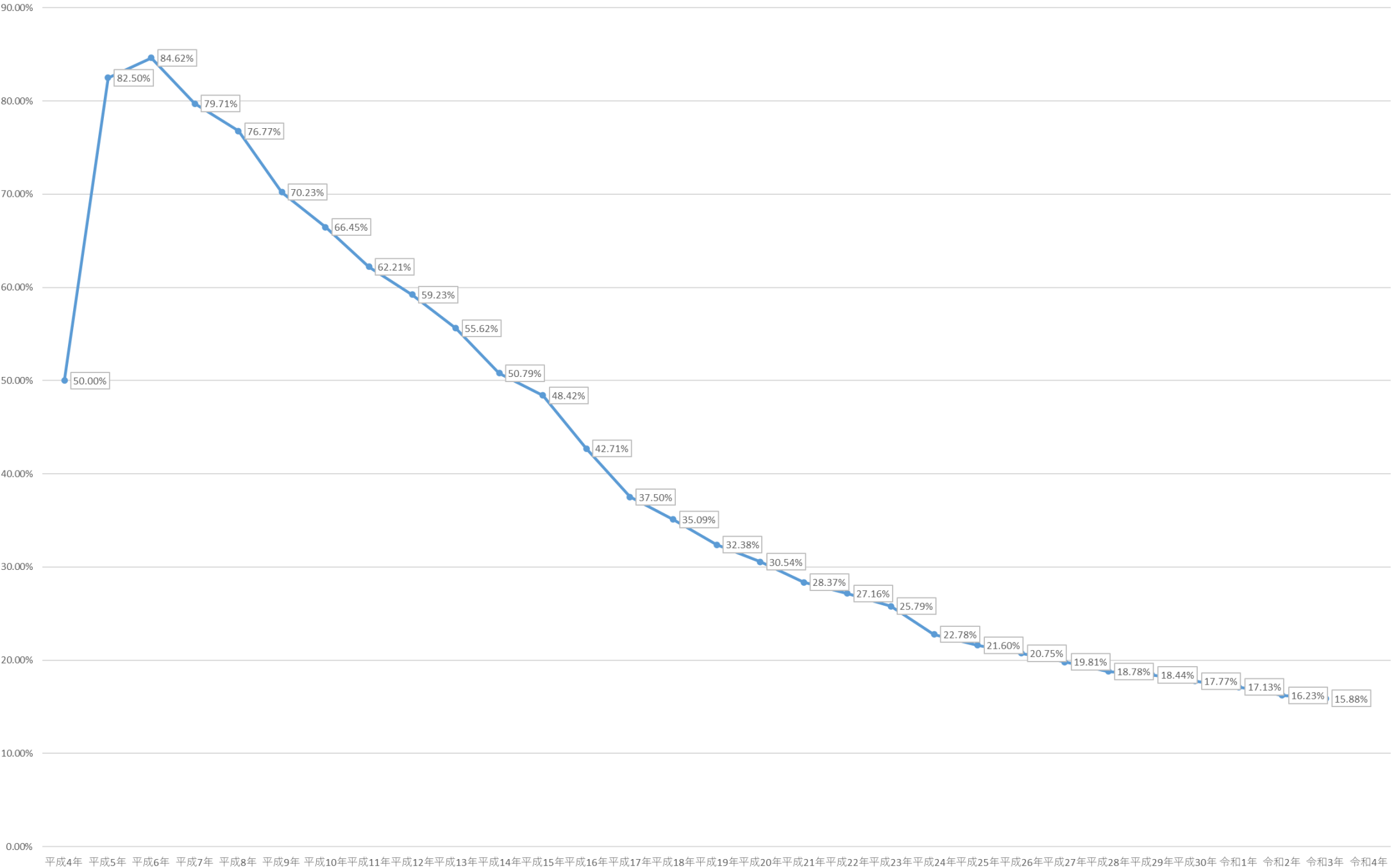
群馬県社会福祉士会の組織率

平成4年	50.00%
平成5年	82.50%
平成6年	84.62%
平成7年	79.71%
平成8年	76.77%
平成9年	70.23%
平成10年	66.45%
平成11年	62.21%
平成12年	59.23%
平成13年	55.62%

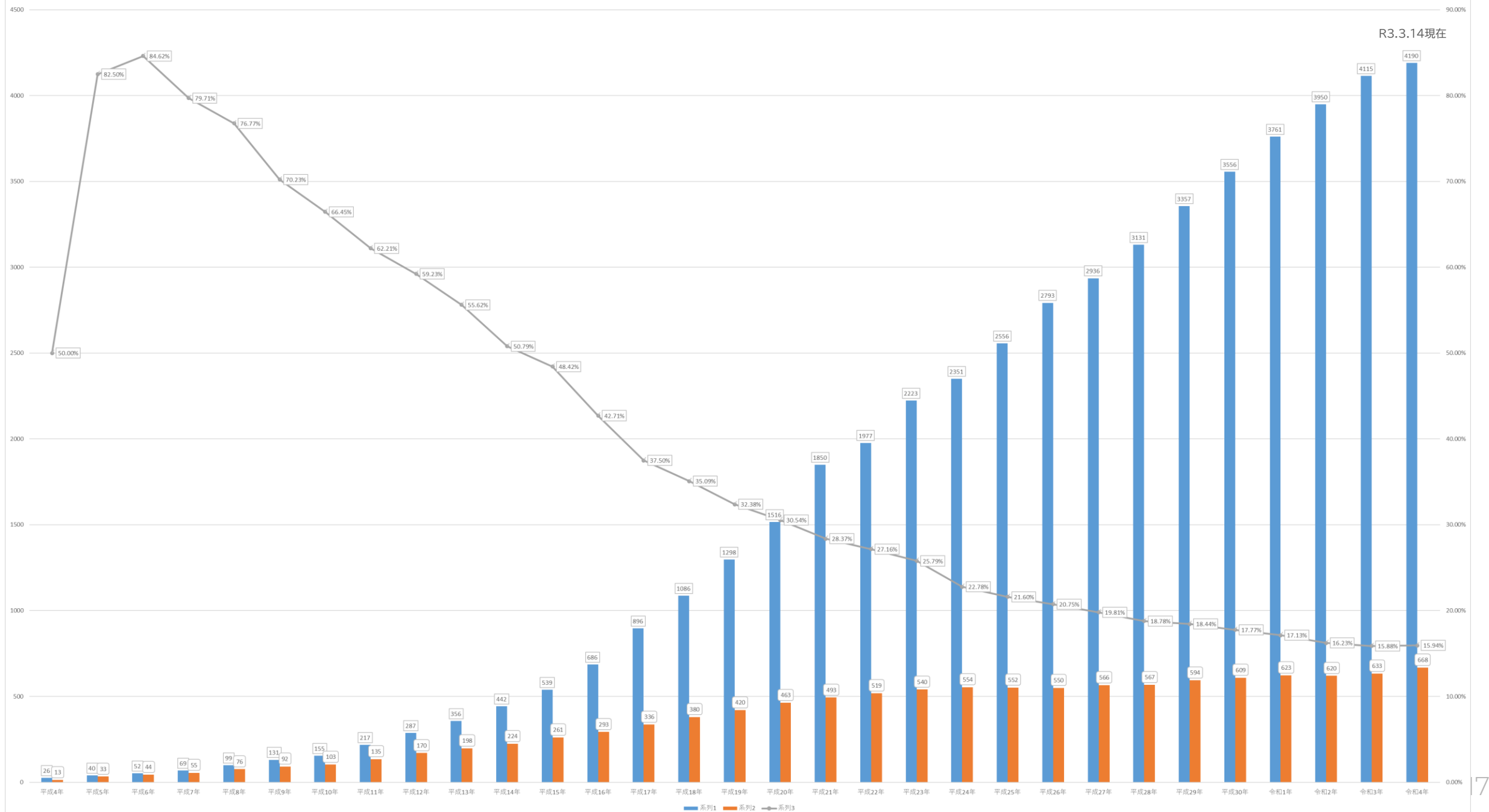
平成14年	50.79%
平成15年	48.42%
平成16年	42.71%
平成17年	37.50%
平成18年	35.09%
平成19年	32.38%
平成20年	30.54%
平成21年	28.37%
平成22年	27.16%
平成23年	25.79%

平成24年	22.78%
平成25年	21.60%
平成26年	20.75%
平成27年	19.81%
平成28年	18.78%
平成29年	18.44%
平成30年	17.77%
令和1年	17.13%
令和2年	16.23%
令和3年	15.88%

群馬県社会福祉士会組織率



群馬県における社会福祉士登録者数と入会数及び組織率の変遷



下がり続ける組織率

- メリットはなんなのか
- 会費が高くて
- 敷居が高くて
- どんなことしているの

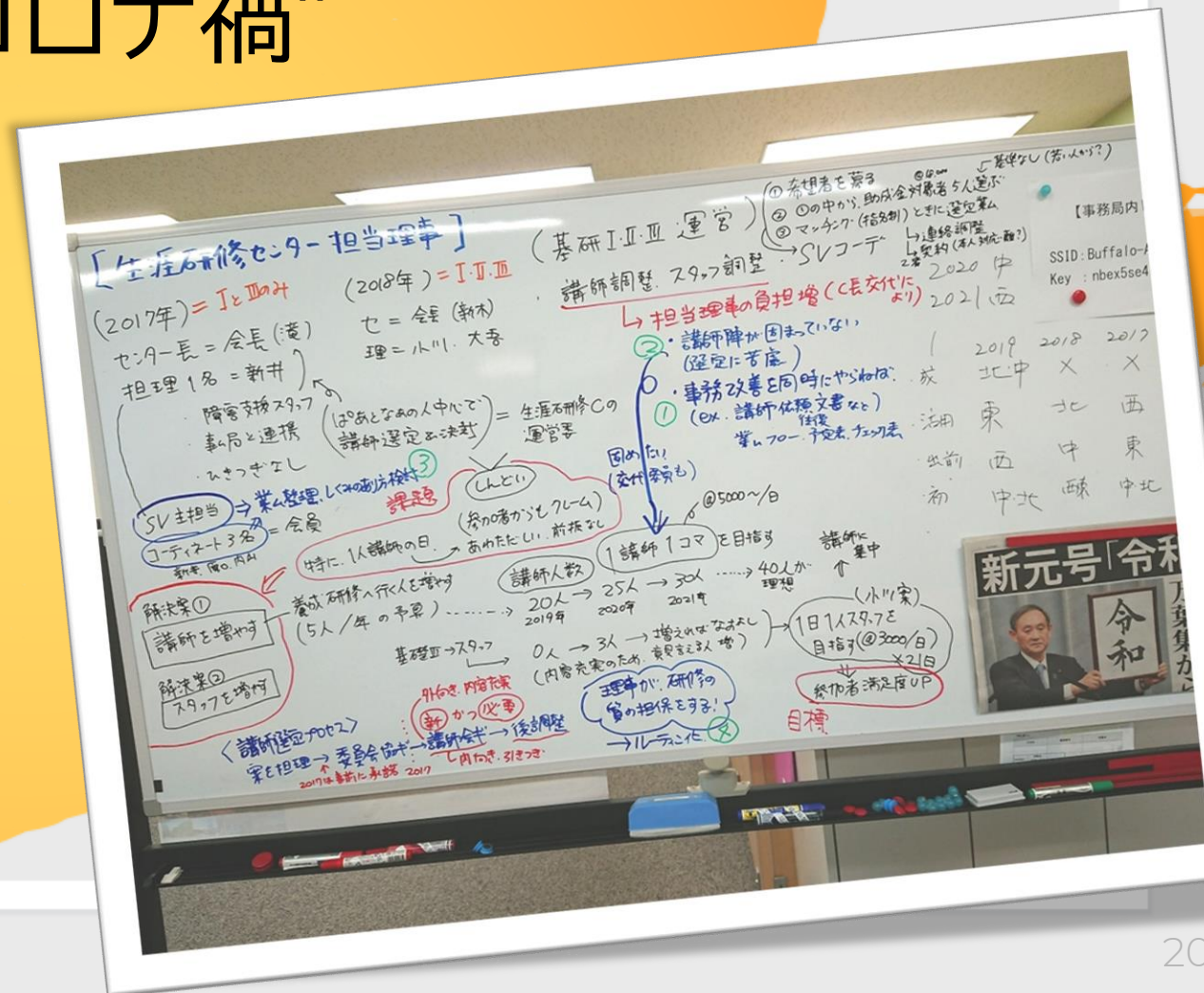
3

いつ変わるの？

種は以前から撒いていた
きっかけは、いわゆる“コロナ禍”

コロナ禍以前より、理事
有志で、会のビジョンや
ミッションについて検討

なにか変えなきゃ。
と思い始めていた頃…



令和2年(2020年)2月…

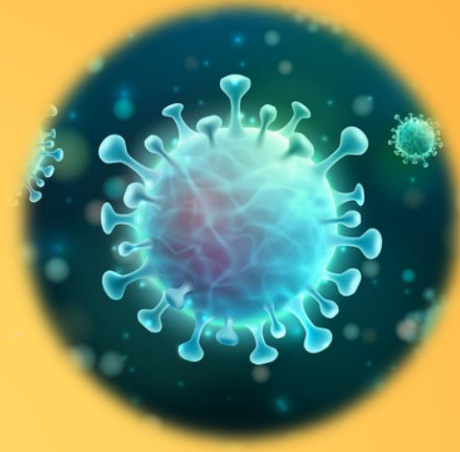
新型コロナウイルス感染症

中国→全世界へ

日本国内でも様々な面で影響が出始める

”感染拡大防止のため“

→今まで当たり前に出ていたこと、していたことが出来なくなった



群馬県社会福祉士会ホームページより

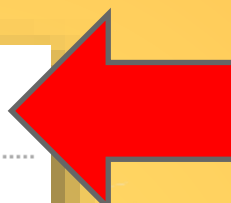


2020年度基礎研修Ⅱ及び基礎研修Ⅲの中止について

(会員の皆さま・受講予定者の皆さまへ)

この度、群馬県社会福祉士会 生涯研修センターは、2020年度基礎研修Ⅱ及び基礎研修Ⅲにつきまして、新型コロナウイルス感染拡大等の状況を鑑み、受講生の皆さま及び関係者の健康と安全を考慮した結果、止む無く中止とさせていただくことと致しました。急なお知らせで大変申し訳ございませんが、ご理解いただきますよう、何卒よろしくお願い致します。

なお、9月から開講予定の基礎研修Ⅰにつきましては、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら調整を行い、決定次第、適宜お知らせさせていただければと考えております。



検討の結果
基礎研修全てに
おいて中止の決
断をする。

その他、総会縮小開催、実習指導者講習会中止、各種研修の中止、委員会の活動停止、事務局の時短営業など

コロナ禍だから何もできない？

コロナ禍だからできない
コロナ禍だからやらない



群馬県社会福祉士会では、コロナを理由に何もできない、何もしないという**考え方**をやめました。

コロナ禍だから何もできない？

会員の研修の“機会“を確保するのが生涯研修センターの使命である。

今までのやり方でできないなら新しい方法を模索しよう！



集まれないなら、“集まらず”にやればよい。

The background is a blurred photograph of several people sitting at a table, looking at their smartphones. Overlaid on this image is a network of white lines connecting various orange hexagonal icons. These icons represent different aspects of education and technology, such as a graduation cap, a smartphone with a graduation cap, a globe, a bar chart, a person at a computer, a magnifying glass over a document, a play button, and a graduation cap on a globe. In the center of the image, there is a large, glowing orange hexagon containing a white icon of a graduation cap and the word "E-LEARNING" in white capital letters.

そうだ、オンラインでやろう。

(1) オンライン化(ICT化)

新型コロナウイルス感染症は間違いなく、オンライン化の推進の大きな要因の1つです。

推進というよりは「せざるを得ない状況に追い込まれた」が正しい表現かもしれません。

(2) 中長期計画発動！

コロナ禍以前より話し合われていた会のビジョン・ミッションを具体化する動きは、コロナ禍における行動制限により、より強まりました。オンライン会議などの確立があつてこそ、当会の中長期計画が急速に動きはじめたのです。







会員の 会員による 会員のための「〇〇〇〇」

～課題に気づき、自ら動き出す人を応援する会になるためのアクション～

一般社団法人 群馬県社会福祉士会 常務理事 星野久子

自己紹介

一般社団法人群馬県社会福祉士会 常務理事 星野久子



神流町恐竜センターにて

1971年群馬県前橋市生まれ。
金沢大学 理学部地学科卒業。
地殻化学専攻。玄武岩質マグマが好き。

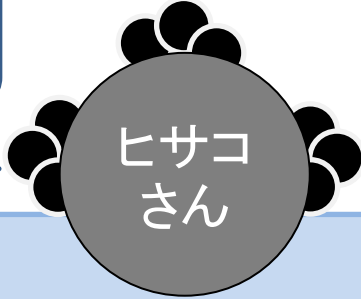
1995年に群馬県共同募金会に入職。
助成業務を担当し、福祉団体・NPO等の
支援にあたっている。



2009年社会福祉士登録。
仕事の基礎資格はファンドレイザー。
仕事の基礎思考はファシリテーション。

座右の銘 「幸福な家庭に聡明な妥協あり」

さあて、今日のヒサコさんは～？

A character named Hisaako, represented by a grey circle with black flower-like shapes around it.

ヒサコ
さん

- ① 計画策定はプロセスが大切ですってよ
- ② 「来るものは拒まず」作戦！
- ③ 自発性を促すためのスキルを学ぶ

...の3本です！

中長期計画の概要

2022－2026年

1992(平成4)年に発足した群馬県社会福祉士会は、2022(令和4)年に30周年を迎えます。
有資格者有志が思いを寄せて立ち上げた当会ですが、年を重ねるにつれ、設立当初の思いが霞み、
ソーシャルアクションの基礎となるべき組織力が伸びずに活動が停滞してきているのでは…
そんな現状を打開したい！と私たちは心を新たにしました。

2019(令和元)年、危機感を共有した役員有志で中長期計画策定に向けたワーキングチームを発足し、
2021(令和3)年、具体的に計画策定するための検討会メンバーを公募してテーマ別に協議を進め、
2022(令和4)年、「三十而立」の第一歩として、中長期計画をカタチにして、動き出します！
じりっ

一般社団法人群馬県社会福祉士会
中長期計画アウトライン
2022年－2026年

ぐんまのソーシャルワークが躍動する！



この計画の目標

- 「仲間1000人計画」有資格者の加入率25%を目指そう！
- 「学び100%実行」研修やイベントに全会員が年1回以上参加しよう！
- 「社会を動かす組織力」会員の2人に1人以上が委員会や地区協議会の活動に参加して、社会の課題に率先して向き合える組織にしよう！

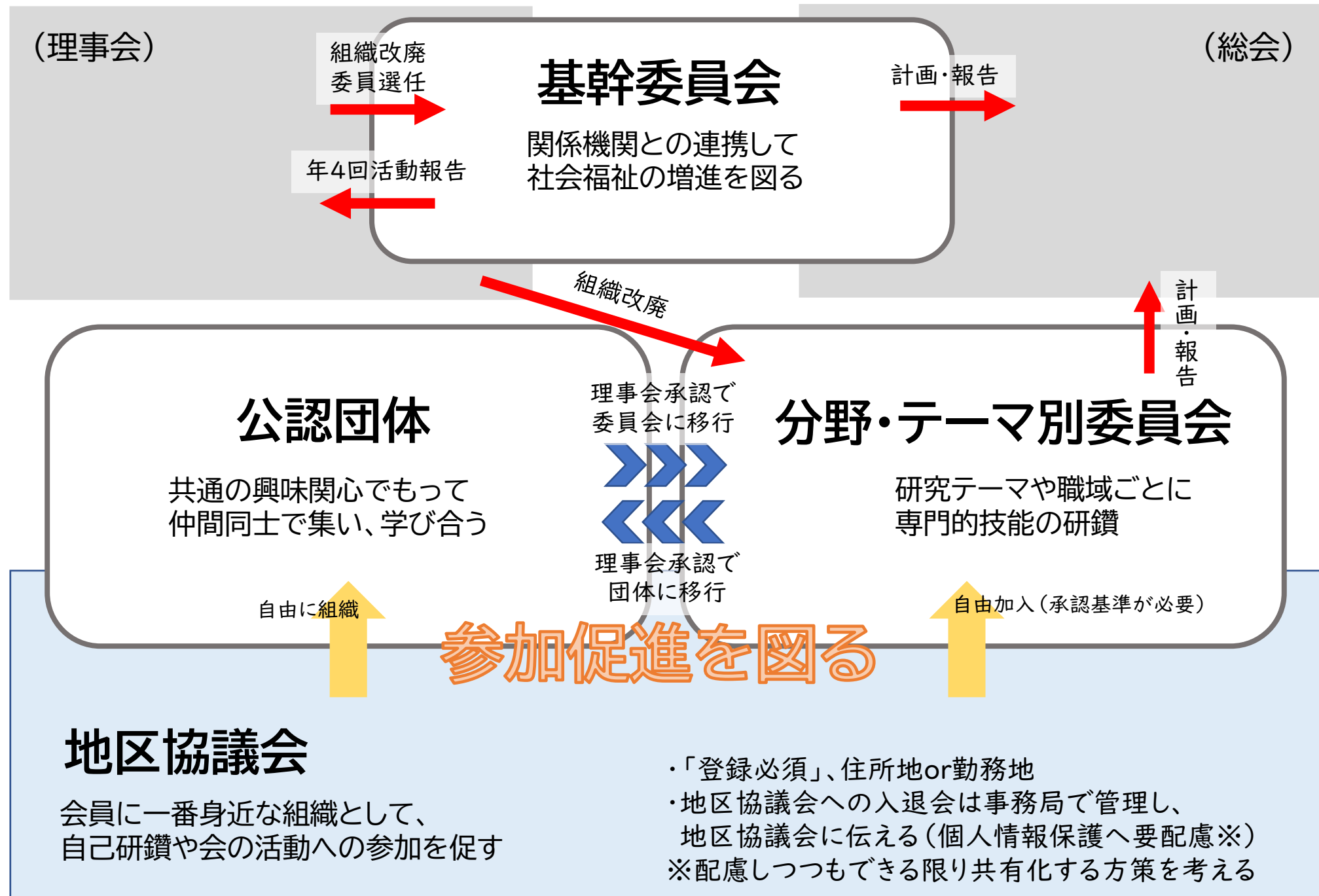
中長期計画策定の、今のところの「成果物」は

新しい委員会体制 が、できたこと。

【特徴】

- ・委員会活動に参加したことのない人でも所属しやすい「**分野別委員会**」の設置
- ・自発的に集まって活動できる「**公認団体**」という枠組みの設定





1 本会の運営に関する委員会

総務委員会

広報委員会

ホームページ管理運営委員会

2 本会の事業に関する委員会

権利擁護センターぱあとなあ群馬

生涯研修センター

災害支援委員会

3 本会の事業に関する委員会及び研究会等

地域包括ケア研究委員会

ユースセッション委員会

ソーシャルワーク研究委員会

子ども福祉専門委員会

多文化共生ソーシャルワーカー委員会

スクールソーシャルワーク研究委員会

社会福祉士実習指導者養成支援研究委員会

ハンセン病福祉研究委員会

リーガルソーシャルワーク委員会

現行

1 基幹委員会

総務・企画委員会（委員会活性化、組織率向上、ユース向け企画なども含む）

広報・コミュニケーション委員会

生涯研修センター（社会福祉士実習指導者養成研修なども含む）

権利擁護センターぱあとなあ群馬

災害支援委員会

2 分野・テーマ別委員会

高齢福祉委員会

障害福祉委員会

児童福祉委員会

人権・地域福祉委員会

ソーシャルワーク研究委員会

子ども福祉専門委員会

多文化共生ソーシャルワーカー委員会

スクールソーシャルワーク研究委員会

ハンセン病福祉研究委員会

リーガルソーシャルワーク委員会

（このほか、追加を検討する委員会はまずは公認団体から始める）

改正後

基礎的な委員会として必置とし、
これから活動しようとする会員を受け入れ、
他の委員会や公認団体と連携する

例えば、予算を持たない公認団体の臨時的経費を
これらの委員会が負担することができる（研修等）

今を遡ること3年半前、2019年・秋…



2019年秋。ビジョン・ミッションを考える「理事有志の会議」を何回もやっていた。

中長期計画

目的・ミッション

- サックバランに
- 「ミッション」とい
- 「理念」
- 日本社会
- 倫理綱領
- 重点集約
- (言葉に表現し
- 表現は1人

[ミッシン]

- ◎ 社会福祉士
- ◎ やりたいこと
- ことと実現
- ◎ 身近な士と
- 頭でからでな
- ◎ 士を支える会
- ◎ 会か士と
- 士に求め
- ◎ 魅力的な会
- 会へのリテラリ
- ネットは自分で見

[会の目的・ミ]

3条と
分解

援助を

↑
士の資

倫

車

④

◎ 会員向けアンケート

→ 本当に会員向けですか?

入らない人の
意見もききたい!!
例) 実習指導者研修
の参加者とか

選抜股

<ききたいこと>

① 何のために 会員になたか
(何を期待して) ↓ (何を求めて)
(1-2) 継続している理由

(入会時)

(現在)

同じ選抜股

② 入ってみて どうでした?
①の期待とありでしたか?
(5・4・3・2・1・0)

①の選抜股
ごとく?

③ 期待とありでなかった点は?
(自由記述)

△△△△△
(理由)

会員本人の問題

④ ③に対して ご意見と
あなたはどうかめりたいか
どう変えていきたいか

会の問題 (参加のしかたが
めんどいなど)
期待していた研修・セミナーが
なかった

あなたができることは?

専門性を高めた
相談で仲間をよめた
情報を得たい
石井修会に参加した
自分のモチベーションUP keep
士になったから (士だから)
その他 (記述)

アンケート以外を
1月に1回
10日
1月上旬 発送
1月末 締め
(回答アプローチ)
2月上旬 最終
(分析)
結果のフィードバック (2月下旬 WG) 2/26
3月臨時理事会
でまとめる
決断の日!!

相関

会員
満足度

(4段階)

③ これからの会に期待することは?
(自由記述) なるべく具体的に

④ ③を実現するために必要なことや
あなたができること

あと3次決定
メッセージ
次回理事会までに案を2つ (見野)

※ 無記名

(性別 男女・他) いらない?

◎ 会員年数 (1~5 / 6~10 / 11~)

◎ プロ・フ

◎ 主な分野 (児童 障害 高齢 地いさ 医療 他)

② 回収率の目標

30% 200人

(最良案) 総会の参加者数

併用する

Web

・ 無料 → 回答数・設問数に

・ 有料 → ランコストによる

→ 総会出席

総会資料に紛れないうた

色紙の裏に封筒に入れてから

返信用に

同封



ヒサコ
さん

①

「仲間1000人計画」は計画策定「前」から。

計画策定はプロセスが大切ですってよ

理事も会員も「自主的な参画」を尊重

○「目的を確認できる場」としての職能団体

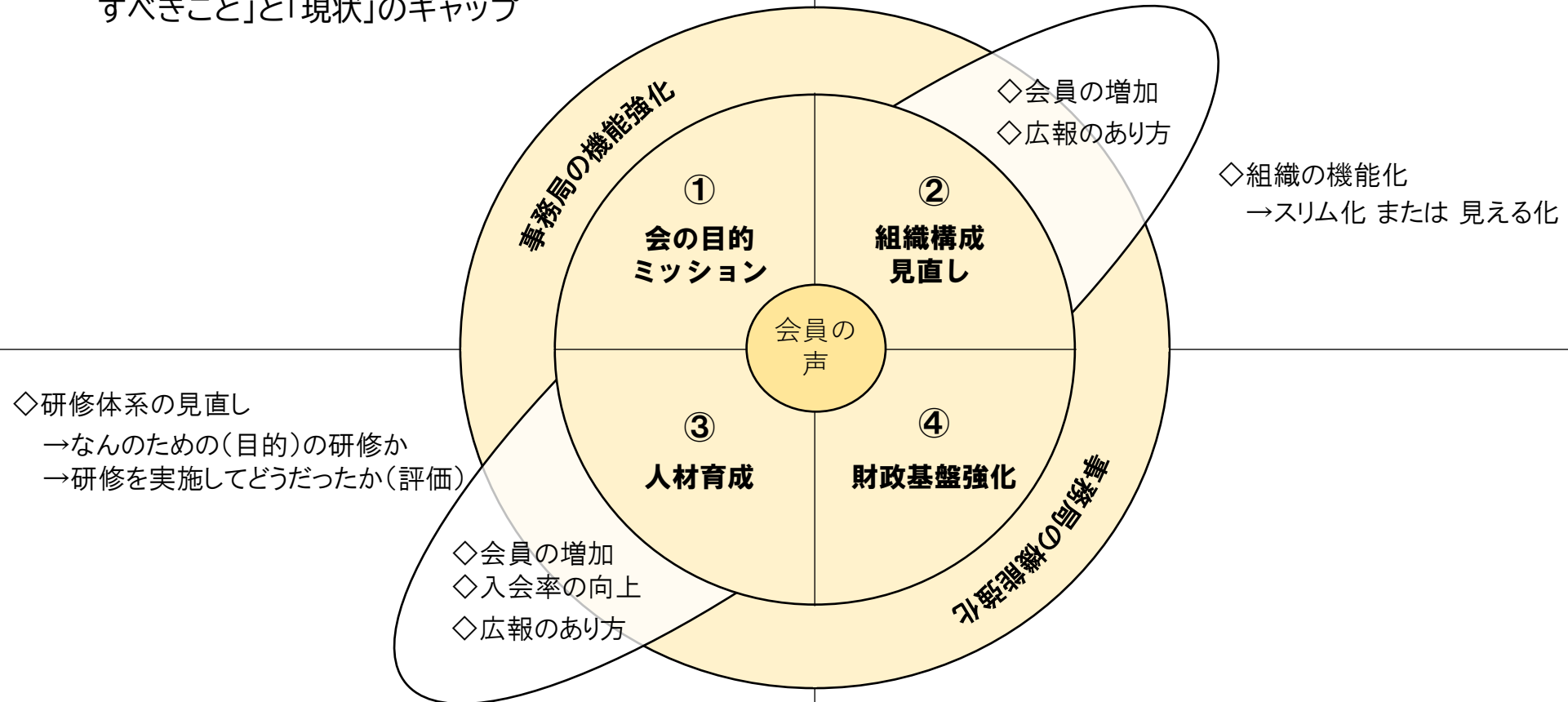
○“社会福祉士”の課題が言語化できていない

→「社会から求められていること、社会福祉士としてすべきこと」と「現状」のギャップ

○組織「力」の向上が必要

→各委員会やその他組織が、**各々で完結**してまっている
そのため、成果の共有や課題を議論する場所がない

○**理事会の役割の明確化**と会員への周知



○若い世代が育たない(そもそも**入会率が低い**)

○**周囲を巻き込んでいく仕掛け**作りが必要

→ステークホルダー・ピラミッドの分析

○収益事業及び委託事業の強化

→社会のニーズに応える外への働きかけが必要

→**「信頼性」の高い**職能団体

中長期計画策定に向けた検討会 メンバー大募集！

私たちの会の未来は、私たちが切り開いていく。この先のプランを一緒に作りませんか？

群馬県社会福祉士会 中長期計画策定に向けたミッション(仮)

「ソシャる。」

ソーシャルワークで、いろんな「生きる」を支えたい。
私たち社会福祉士の根っこには、いつもその思いがあります。
そして、私たちが所属する群馬県社会福祉士会は、
そんな私たちの根っこを支える大地であってほしい。
私たちは、その大地に生える草を食べ、そしゃくし、
ふんばりながら、いろんな人生に対峙する。
そんなふうに「ソシャる」私たちを、どうか、大切に、育んでください。

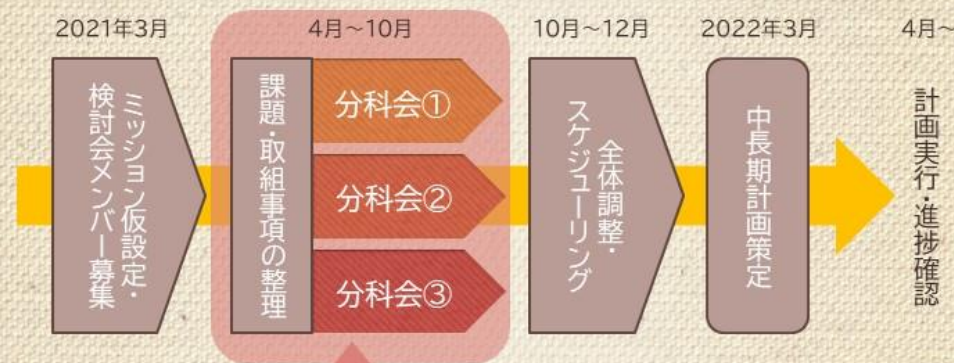


群馬県社会福祉士会は、社会福祉士の課題咀嚼力を高め、
何度も反芻しながら支援エネルギーに変えることを、支援します。

丑年ですからね。

群馬県社会福祉士会の中長期計画を策定するにあたり、
人材育成・研修のあり方／委員会等組織見直し・活性化／組織運営・基盤強化
3つの視点で、チームに分かれて検討を進めていきます。
この検討チームのメンバーを募集いたします！（裏面をご覧ください。）

群馬県社会福祉士会は、平成4(1992)年5月に発足しました。
四半世紀が過ぎ、大きく変わった社会情勢と、さらにコロナ禍を経て様変わりする今後を見据え、
会の存在意義、組織のあり方、諸活動の活性化について、会員同士で具体的に検討したいと考えています。



分科会① 人材育成・研修のあり方

会員の研修体系・内容について協議します。(入会後のステップアップ、キャリアパスなど)

分科会② 委員会等組織見直し・活性化

委員会のあり方について協議します。(委員会構成、委員会間の連携、参加促進など)

分科会③ 組織運営・基盤強化

法人運営や事業体系について協議します。(社会ニーズに応えるための基盤強化など)

分科会での検討メンバーを大募集！

社会福祉士と群馬県社会福祉士会の“これから”について、上記分科会で一緒に話し合うメンバーを募集します。
令和3年度の前期(約半年間)、数回の会議やメール等で意見交換しながら課題を抽出し、取り組むべき事柄について具体化していきます。理事が分担して各分科会を担当し、責任をもってまとめ役となりますので、安心してご参加下さい。お申し込み、お待ちしております！

【お申し込み方法】

群馬県社会福祉士会ホームページの会員ページにある申込専用フォームからお申し込み下さい。
Eメールでお申し込みの場合は、お名前、会員番号、所属、連絡先Eメール及び電話番号、参加希望の分科会番号及び参加の動機等を、メール本文に記載して送信下さい。

<ホームページURL> www.gunma-csw.or.jp (トップページ画面右上から会員ページにログイン)

<Eメール送信先> info@gunma-csw.or.jp <事務局電話番号> 027-212-8388

2021年。
コロナ禍でも
動き出そうと決意。

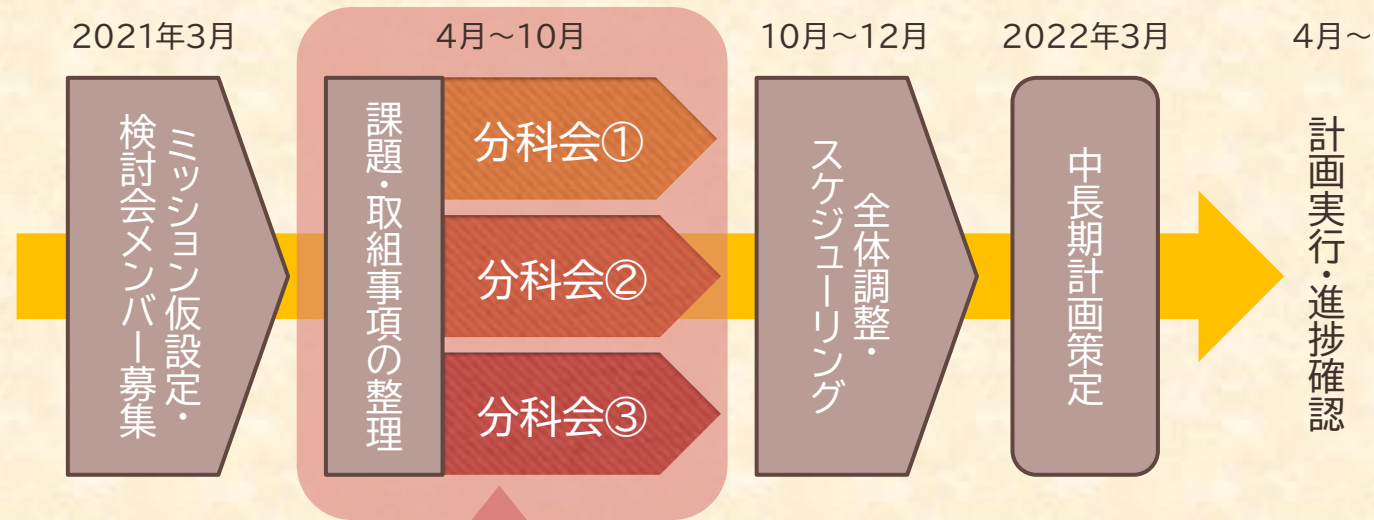
「ソシヤる。」



ソーシャルワークで、いろんな「生きる」を支えたい。
私たち社会福祉士の根っこには、いつもその思いがあります。
そして、私たちが所属する群馬県社会福祉士会は、
そんな私たちの根っこを支える大地であってほしい。
私たちは、その大地に生える草を食べ、そしゃくし、
ふんばりながら、いろんな人生に対峙する。
そんなふうに「ソシヤる」私たちを、どうか、大切に、育ててください。

群馬県社会福祉士会は、社会福祉士の課題咀嚼力を高め、
何度も反芻しながら支援エネルギーに変えることを、支援します。

中長期計画策定に向けた検討会 全体フロー



分科会① 人材育成・研修のあり方

会員の研修体系・内容について協議します。(入会後のステップアップ、キャリアパス、専門性向上など)

分科会② 委員会等組織見直し・活性化

委員会や地区協議会のあり方について協議します。(委員会構成、委員会間の連携、参加促進など)

分科会③ 組織運営・基盤強化

法人運営や事業体系について協議します。(社会ニーズに応えるための基盤強化など)

理事以外で
8名参加

 ピンを削除

コロナ禍ゆえ、ほぼオンライン開催

分科会3 星野久子

 ミュート
 ビデオの停止 セキュリティ 参加者 9 チャット 画面の共有 レコーディング ブレイクアウトルーム リアクション

退出

中長期計画の概要

1992(平成4)年に発足した群馬県社会福祉士会は、2022(令和4)年に30周年を迎えます。

有資格者有志が思いを寄せて立ち上げた当会ですが、年を重ねるにつれ、設立当初の思いが霞み、ソーシャルアクションの基礎となるべき組織力が伸びずに活動が停滞してきているのでは…そんな現状を打開したい！と私たちは心を新たにしました。

2019(令和元)年、危機感を共有した役員有志で中長期計画策定に向けたワーキングチームを発足し、2021(令和3)年、具体的に計画策定するための検討会メンバーを公募してテーマ別に協議を進め、2022(令和4)年、「三十而立」の第一歩として、中長期計画をカタチにして、動き出します！

一般社団法人群馬県社会福祉士会
中長期計画アウトライン
2022年－2026年

ぐんまのソーシャルワークが躍動する！



この計画の目標

- 「仲間1000人計画」有資格者の加入率25%を目指そう！
- 「学び100%実行」研修やイベントに全会員が年1回以上参加しよう！
- 「社会を動かす組織力」会員の2人に1人以上が委員会や地区協議会の活動に参加して、社会の課題に率先して向き合える組織にしよう！

中長期計画・アウトライン

次の3つの項目を柱に、会員が積極的にソーシャルワークを展開し、ソーシャルアクションを起こせる基盤づくりに取り組みます。

会員活動の推進

- ・ 会員支援の仕組みづくり
- ・ 会員が活動しやすい委員会体制づくり
- ・ 交流の場、ネットワークの形成

タイムリーな情報提供や会員支援のためのネットワーク体制を構築することで、地区協議会・委員会活動の活性化を図ります。

人材の育成

- ・ 研修体制の強化
- ・ スーパービジョンの推進
- ・ 人材の活用及び活躍の場の創出
- ・ 次世代の育成

専門職としての視座、専門知識と専門技術を用いて、ソーシャルワーク機能を十分に発揮できる人材を育成します。

運営体制の構築

- ・ 組織運営体制の強化
- ・ 法人の公益性の向上
- ・ 会員獲得及び財源の確保

当会が担うべき公的責務を果たせる体制を確立し、会員共助だけでなく、社会への貢献・県民への寄与を図ります。

ソーシャルワークの基盤となる組織づくり

中長期計画・タイムライン

どの項目も重要ですが、焦りすぎず、地道な取り組みからコツコツと目標に向かって取り組んでいきます。

2022年～ 計画実行のための「ワーキングチーム」を立ち上げて推進していきます。

会員支援のしくみづくり

(まずは情報のメール配信から)

活動しやすい委員会体制

(まずは現行委員会の見直しから)

会員獲得及び財源の確保

(例:若年層入会キャンペーン)

組織運営体制の強化

2023-24年～

会員交流・ネットワーク形成

人材の活用・活躍の場の創出

研修体制の強化

スーパービジョンの推進

2025-26年～

次世代の育成

法人の公益性の向上

会員のソーシャルワーク支援
ソーシャルアクションの積極展開

一般社団法人群馬県社会福祉士会
中長期計画アウトライン
2022年～2026年

ぐんまのソーシャルワークが躍動する！



ソーシャルワークで、いろんな「生きる」を支えたい。

私たち社会福祉士は、そう思い続けています。

そして、私たちが所属する群馬県社会福祉士会は、そんな私たちを支える大地であってほしい。

私たちは、いろんな人生に対峙するチカラを、その大地で育み、飛躍していきます。仲間とともに！

この計画の目標

- 「仲間1000人計画」有資格者の加入率25%を目指そう！
- 「学び100%実行」研修やイベントに全会員が年1回以上参加しよう！
- 「社会を動かす組織力」会員の2人に1人以上が委員会や地区協議会の活動に参加して、社会の課題に率先して向き合える組織にしよう！



＜お問合せ先＞ 群馬県社会福祉士会事務局 TEL 027-212-8388

「ワーキングチーム」メンバー募集

群馬県社会福祉士会創設30周年を目前に、今後のこの会のあり方などを「中長期計画」として表現しました。
この計画を静止画のまま終わらせず「躍動」させるためには、一人でも多くの“仲間”のチカラが必要です！ いっしょにこの会を形作っていきませんか？

今年度の主題

活動しやすい委員会体制づくり

第1回作戦会議

2022年 5月26日(木) 19:00～20:30

開催方法(会場・オンライン等)については後日ご連絡します。

計画実行に積極的に携わっていきたい！という方
関心があるのでちょっと覗いてみたい！という方

ぜひ、ご参加ください！ ご応募お待ちしております。(5月16日メ切)

参加申込は、右の2次元コードからフォームに入力いただくか、
Eメールでご連絡ください。(info@gunma-csw.or.jp)



中長期計画・タイムライン

2022年～ 計画実行のための「ワーキングチーム」を立ち上げて推進していきます。

会員支援のしくみづくり
(まずは情報のメール配信から)

活動しやすい委員会体制
(まずは現行委員会の見直しから)

会員獲得及び財源の確保
(例：若年層入会キャンペーン)

組織運営体制の強化

2023-24年～

会員交流・ネットワーク形成

人材の活用・活躍の場の創出

研修体制の強化

スーパービジョンの推進

2025-26年～

次世代の育成

法人の公益性の向上

会員のソーシャルワーク支援
ソーシャルアクションの積極展開



ヒサコ
さん

②

「仲間1000人計画」の象徴となるように…

「来るものは拒まず」作戦！

人数を制限しないファシリテーションを模索

ワーキングチームの構成

チーム体制	メインメンバー 全体セッションの場面で議論する シェアメンバー グループセッションで意見交換する	負担少なく参加できるしくみとして「シェアメンバー」を設定 興味関心など各々の状況で随時入れ替わり可能
	メインメンバー	シェアメンバー
会議日程の調整	優先して調整	メインメンバーに委ねる
会議中でのポジション	・全体セッションで積極的に意見する ・グループディスカッションで進行役になる	・全体セッションで議論内容を理解する ・グループディスカッションで積極的に意見する
会議以外での意見交換	・事務連絡は「メーリングリスト」 ・こまめな意見交換は「LINE WORKS」	・「メーリングリスト」登録は必須 ・「LINE WORKS」登録は任意

ワーキングチーム協議の流れ

<協議の第①段階>

主に「メインメンバー」で協議し、
提案内容をかみ砕く。

「シェアメンバー」は“聞く”。



<協議の第②段階>

グループに分かれ、
メインメンバーはシェアメンバーの
意見を聞く。

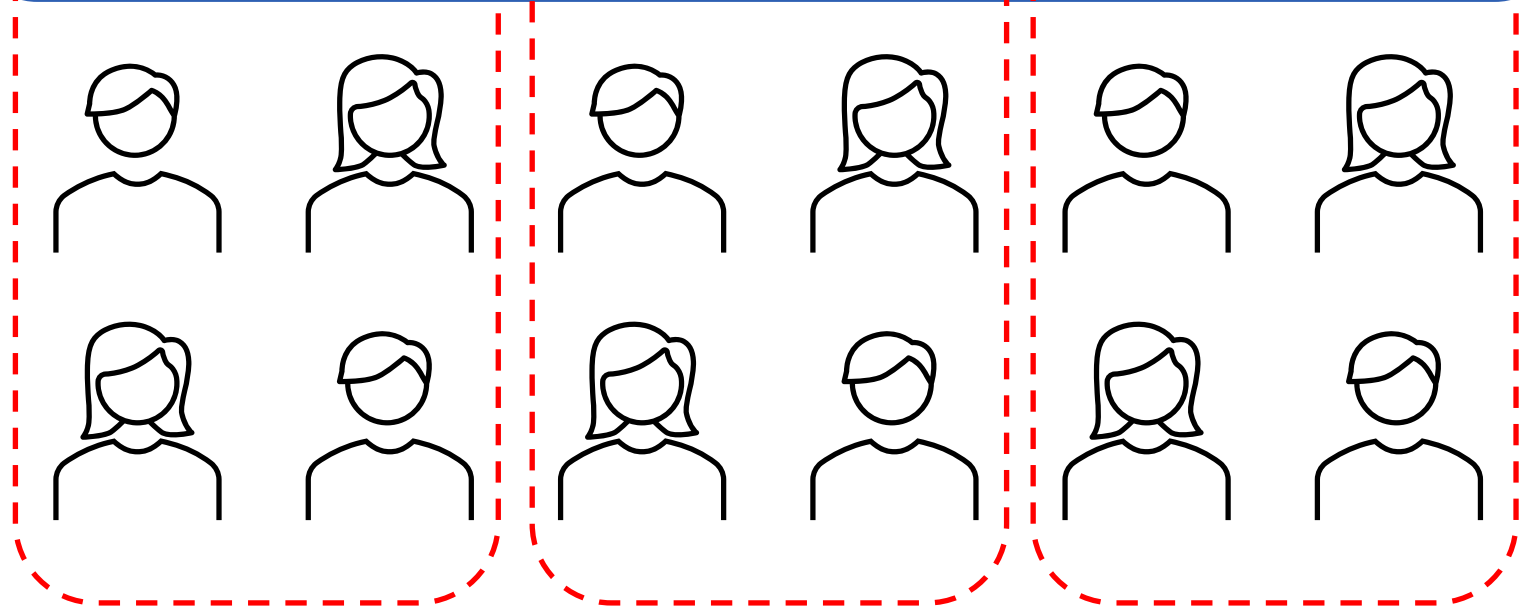
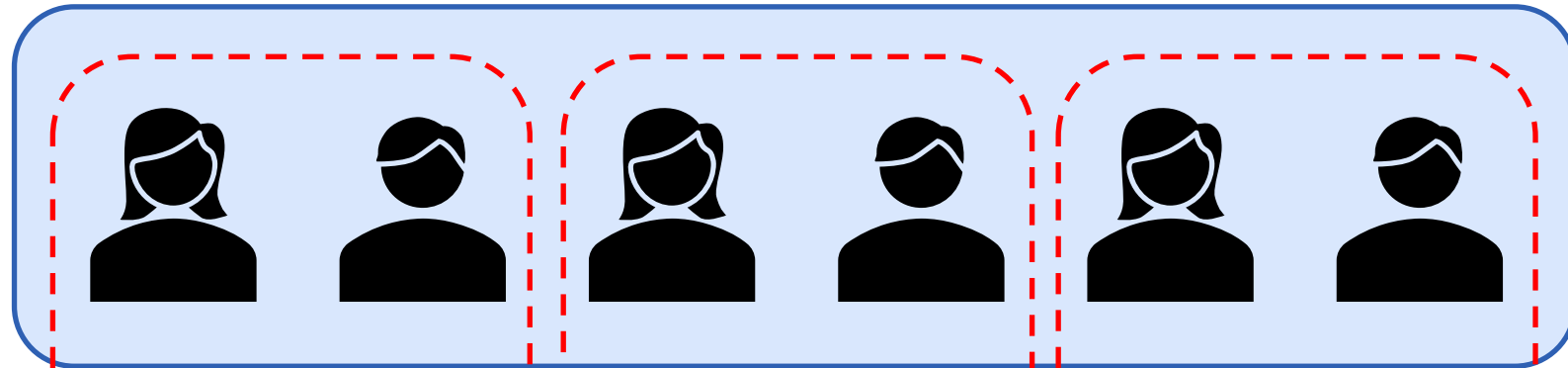


<協議の第③段階>

再度、メインメンバーで協議。
グループの意見を踏まえて
議論を深める。(※)

※グループの意見を集約するのではなく、あくまで
メインメンバーが議論するときの参考にする。

メインメンバーによる協議



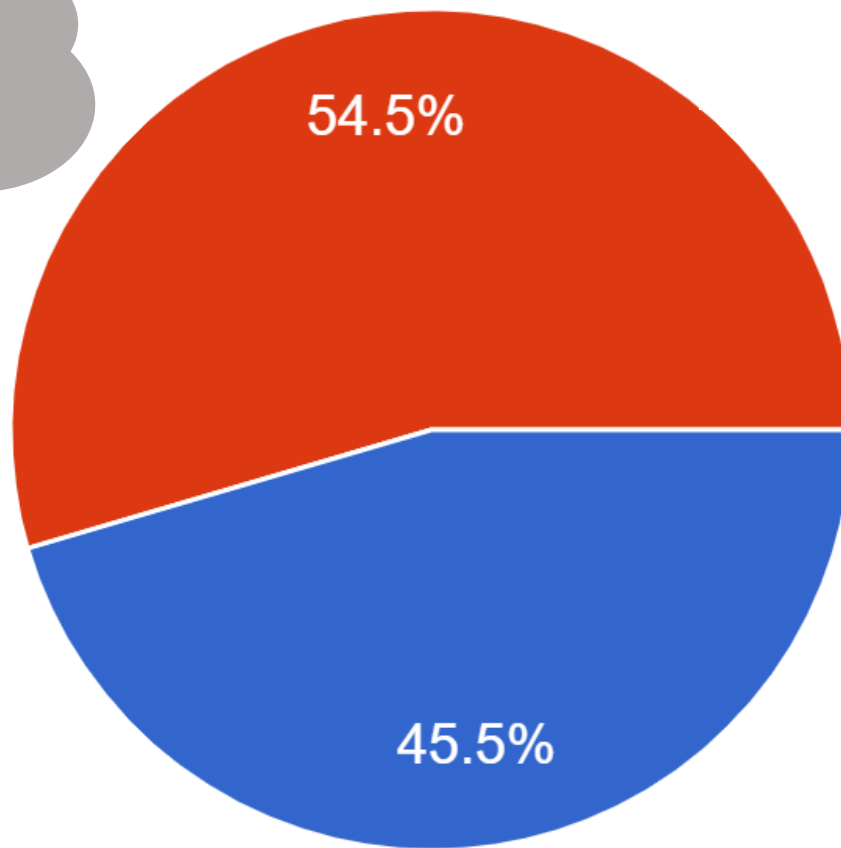
シェアメンバーとの意見交換

この方法は、会議運営としては「失敗」(オンラインがネック)、参加のハードルを下げることは「成功」

ワーキングチームメンバー登録

33 件の回答

理事・委員長以外で
11名参加



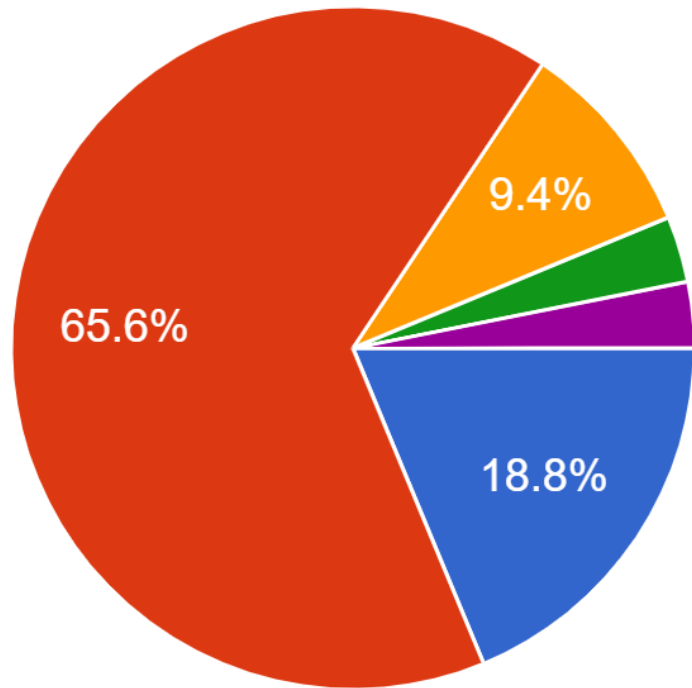
- 「メインメンバー」として登録します
(→ 日程調整の設問へ)
- 「シェアメンバー」として登録します
(→ LINE WORKS 登録の設問へ)

LINEWORKS登録は 28 名

回答あり33人＋未回答6名＋新木会長＝40名
…を想定したファシリテーションが必要

第 1 回作戦会議(5/26)への参加

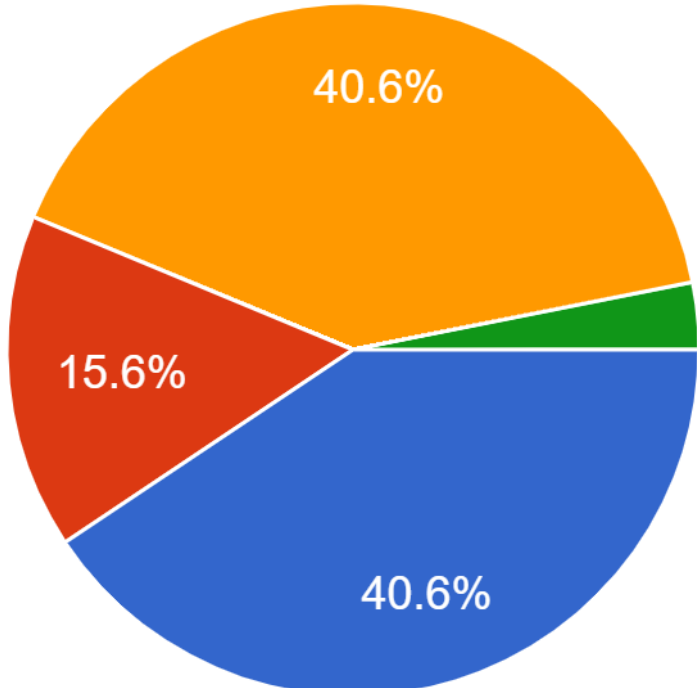
32 件の回答 5月21日現在の回答



- 会場での参加を希望します
- オンラインでの参加を希望します
- この日は参加できません
- 会場第一希望ですが、業務都合で遅刻があり得ます。
- 会場でもオンラインでも可能です

計画実行プロセスへの参加意向

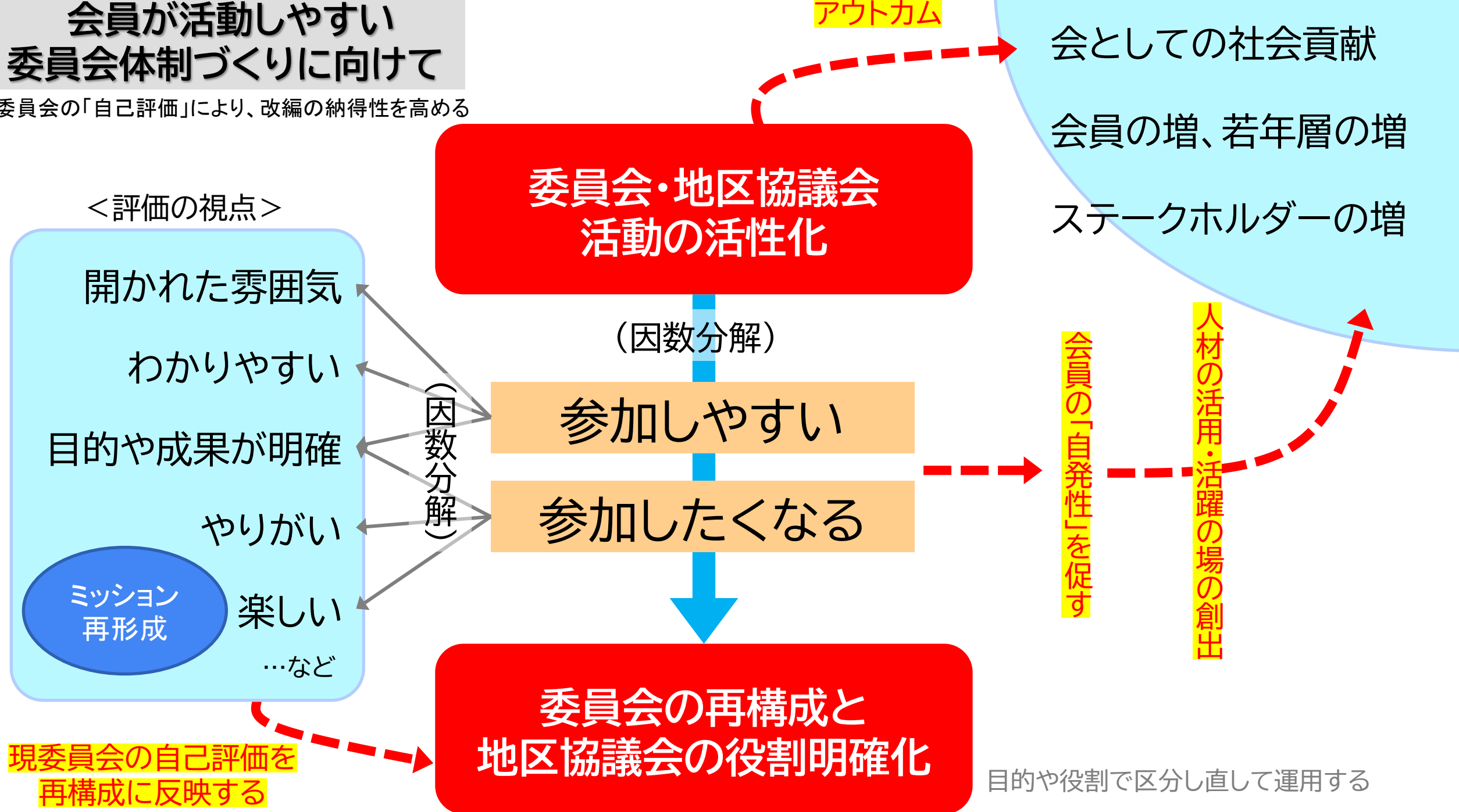
32 件の回答 5月21日現在の回答



- ワーキングチームメンバーとして積極的に参加したい
- 委員長・地区協議会長・理事という立場で、必要に応じて参加したい
- 関心はあるがよくわからないので、まずはオブザーバーで参加したい
- 理事という立場で参加をさせていただいておりましたが、退任後は一会員として参加をさせていただければと思います。

会員が活動しやすい 委員会体制づくりに向けて

委員会の「自己評価」により、改編の納得性を高める



群馬県社会福祉士会 委員会・地区協議会等組織の状況調査票

委員会・地区協議会等組織名	
---------------	--

I・基本情報

①この委員会等組織の役員（正副委員長、正副会長など） ・正の役名及び氏名 ・副の役名及び氏名
②この委員会等組織の活動目的 （どんな分野の何に寄与するか、会の何を担うか、誰のためか、何をするか…など）
③この委員会等組織の参加対象・主な参加分野 （どんな分野の社会福祉士が参加しているか、どんな分野からの参加を想定しているか…など）
④現在の委員等メンバーの数（委員数、実際の活動参加者数）※わからない場合は空欄可 ・委員数 人 ・活動者数 人
⑤過去の委員等メンバーの数の最大値と時期 ※わからない場合は空欄可 ・最大値 人 ・時期 年度ごろ
⑥過去の委員等メンバーの数の最小値と時期 ※わからない場合は空欄可 ・最小値 人 ・時期 年度ごろ

II・情報化の状況

①委員等メンバー間の連絡手段							
郵送	電話	FAX	Eメール	LINE	facebook	LINEWORKS	slack
その他							
②活動に関する情報発信手段（この委員会等組織の外に向けた発信）							
士会の広報誌		チラシ配付		ホームページ掲載		SNS発信	
その他							
③今後活用したい情報共有手段							
Eメール	LINE	facebook	LINEWORKS	slack	Googleワークスペース		
その他							

III・現在の活動状況

会議開催回数（令和3年度実績、4年度予定）	3年度 回	4年度 回
研修開催回数（令和3年度実績、4年度予定）	3年度 回	4年度 回
令和元年度以降の活動で新たに繋がった人の数（会員非会員問わず） 人 （例えば研修会に参加してくれた人、新たに委員になってくれた人、講師、メンバーの紹介で会議に顔を出してくれた人…など）		
今までの活動の中で得られた具体的な成果とその時期、それに対する自己評価 （ネットワークをつくった、報告書を作成した、相談が増えた…など）		

IV・今後に向けて

①この委員会等組織の外向き（対外的）な課題
②この委員会等組織の内向き（運営等）の課題
③今後取り組みたいこと
④上記①～③について、必要な協力・スキルなど（具体的に） 例）ファシリテーション、IT、調査・統計・分析、企業の社会貢献、ファンドレイジング、学生やNPOとの協働…など
⑤中長期計画に対するご意見（委員会としてどう向き合うか等）、ご自由にお書き下さい。

※この調査票は、委員会等組織のメンバー同士で話し合った内容でご回答下さい。
※すべての設問に回答しなくても構いません。「わからない」ということも含めて現状を確認するための調査です。
※この状況調査票の回答内容は、理事会、中長期計画実行ワーキングチーム、各委員会等組織間で共有します。
群馬県社会福祉士会の組織外や、組織内であっても上記以外の会員等へは原則として公開・提供はしません。
（委員会等が特定されない統計情報として公開・提供することはあり得ます。）

2022年9月12日（月）	までにご回答下さい。
---------------	------------

1 本会の運営に関する委員会

総務委員会

広報委員会

ホームページ管理運営委員会

2 本会の事業に関する委員会

権利擁護センターぱあとなあ群馬

生涯研修センター

災害支援委員会

3 本会の事業に関する委員会及び研究会等

地域包括ケア研究委員会

ユースセッション委員会

ソーシャルワーク研究委員会

子ども福祉専門委員会

多文化共生ソーシャルワーカー委員会

スクールソーシャルワーク研究委員会

社会福祉士実習指導者養成支援研究委員会

ハンセン病福祉研究委員会

リーガルソーシャルワーク委員会

現行

1 基幹委員会

総務・企画委員会（委員会活性化、組織率向上、ユース向け企画なども含む）

広報・コミュニケーション委員会

生涯研修センター（社会福祉士実習指導者養成研修なども含む）

権利擁護センターぱあとなあ群馬

災害支援委員会

2 分野・テーマ別委員会

高齢福祉委員会

障害福祉委員会

児童福祉委員会

人権・地域福祉委員会

ソーシャルワーク研究委員会

子ども福祉専門委員会

多文化共生ソーシャルワーカー委員会

スクールソーシャルワーク研究委員会

ハンセン病福祉研究委員会

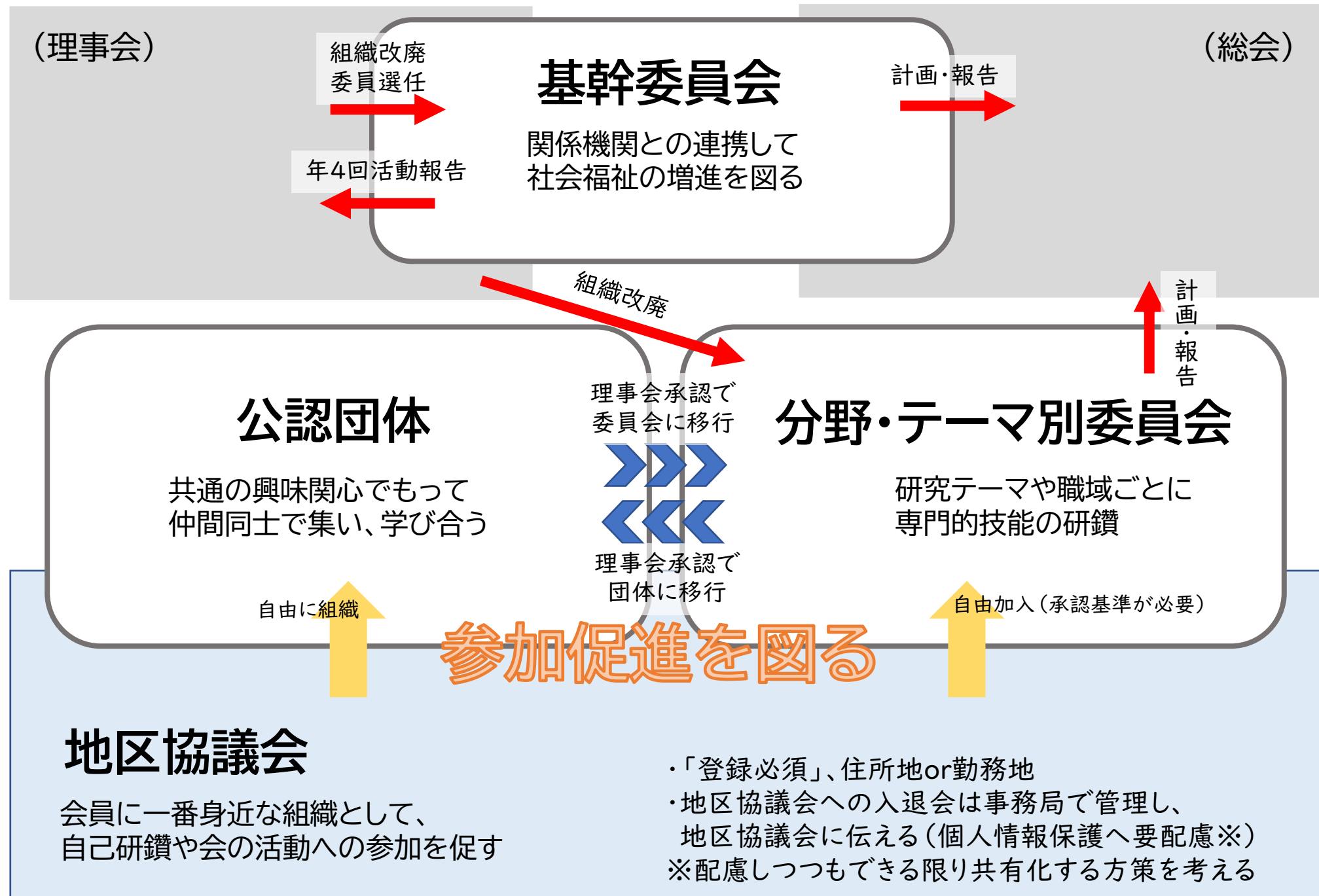
リーガルソーシャルワーク委員会

（このほか、追加を検討する委員会はまずは公認団体から始める）

改正後

基礎的な委員会として必置とし、
これから活動しようとする会員を受け入れ、
他の委員会や公認団体と連携する

例えば、予算を持たない公認団体の臨時的経費を
これらの委員会が負担することができる（研修等）



	区 分	内容・要件等
委員 会 規 則	基幹委員会 定款第3条に掲げる当法人の目的を達成するため設置され、国、県、市町村、および他団体との関係を密にする	➤ 年4回理事会で活動報告 ➤ 予算・決算は総会付議事項 ➤ 活動計画・目標設定、活動報告・成果は総会付議事項 ➤ 委員は理事会が選任 ➤ 組織改廃は理事会付議事項
	分野・テーマ別委員会 定款第3条に掲げる当法人の目的のうち、研究テーマごと、職域分科ごとに、参加委員による専門的技能の研鑽および社会福祉の増進を主たる目的として設置	➤ 予算・決算は総会付議事項 ➤ 活動計画・目標設定、活動報告・成果は総会付議事項 ➤ 委員は委員会からの推薦に基づき理事会で選任 ➤ 組織改廃は当該委員会の意思を尊重のうえ理事会で決定
	公認団体 定款第3条の趣旨を逸脱しない活動を行う、5名以上の任意団体	➤ 予算なし ➤ 活動報告は広報紙及びホームページで行う ➤ 組織認定は理事会承認、廃止は任意で理事会報告
(規定なし)	地区協議会 会員相互の交流が目的。 会員が自由に参加することのできる活動単位であり、当法人が全ての会員に積極的かつ能動的に参加を求めるもの。	➤ 地区協議会の主たる目的は、所属する会員相互の交流及びその深化にある ➤ 会員の参加意欲及び所属意識の向上を図る ➤ 概ね年4回以上活動する ➤ 担当理事が配置される ➤ 予算・決算は総会付議事項 ➤ 活動内容は総会及び広報紙・ホームページ等で報告

「公認団体」の承認基準と手順

原則として会員5名以上で組織し、責任者を決める。

定款第3条に定める目的の範囲内の活動であること
少なくとも年1回、会員向けに活動内容を報告する
2年連続報告が無かった団体は承認を取り消す
解散した場合は直ちに理事会に届け出る

会としての予算は計上しない

金銭を扱う場合は正確に記録し適切に管理する

次の事項を記した申請書を理事会に提出し、承認を得る

- ①団体名（既存の委員会と同じ名称、紛らわしいものは×）
- ②代表者1名（交代の都度理事会に報告）
- ③設立時メンバー5名以上の名簿
- ④団体の目的と主な活動内容

申請を受け、直近の理事会に諮る

定款第3条

当法人は、社会福祉士の倫理を確立し、専門的
技能を研鑽し、社会福祉士の資質と社会的地位
の向上に努めるとともに、社会福祉の援助を必
要とする群馬県民の生活と権利の擁護及び社会
福祉の増進に寄与することを目的とする。

公認団体となるメリット

- ・「社会福祉士会」の名称を冠して活動できる
 - ・会の中で公式に仲間募集や参加案内ができる
- ※総務・企画委員会や分野別委員会が組織化をサポート！

例えば、分野別委員会が、公認団体の立ち上げのきっかけとなる。

分野別委員会（理事が委員長を担う）

人権・地域福祉委員会

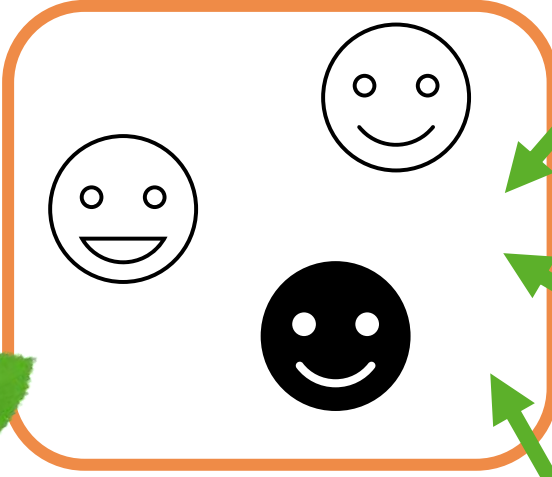
仲間っ！

仲間っ！

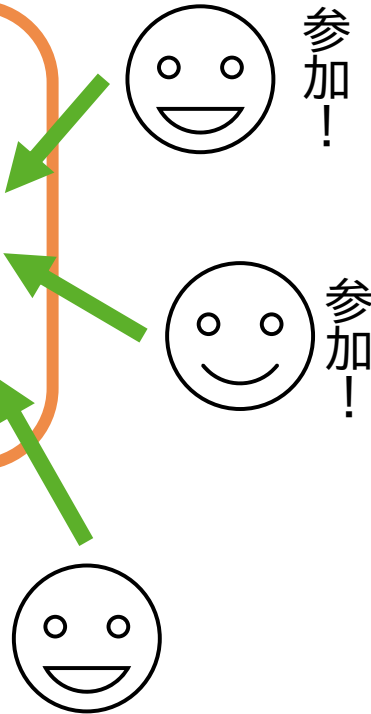
たとえば、
LGBTQ支援に
ついて研究したい！



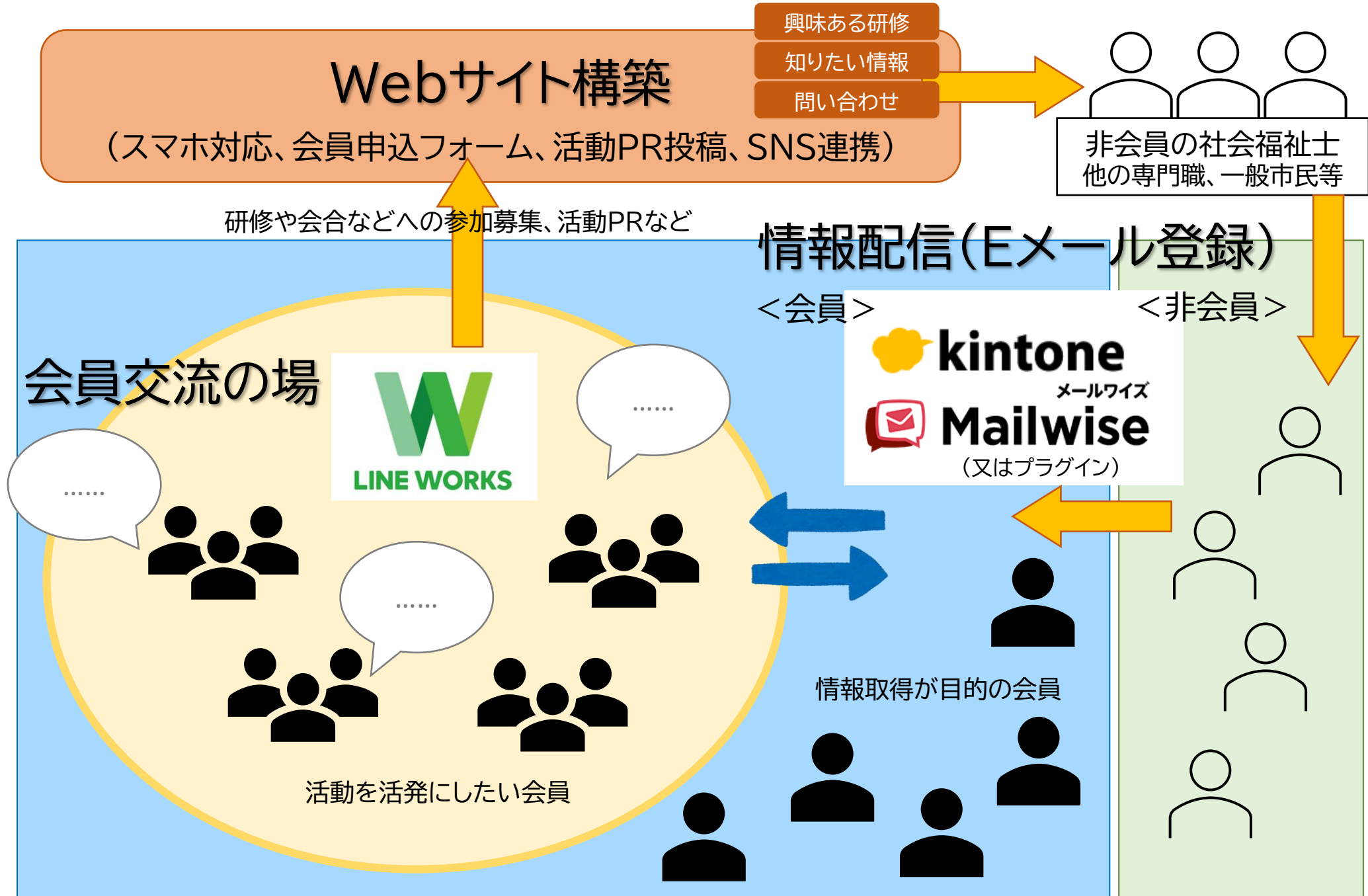
スピンオフ！



公認団体立ち上げ



委員会になる？





ヒサコ
さん

「仲間1000人計画」に向けて、できることを

③

自発性を促すためのスキルを学ぶ

「市民社会」と「ファシリテーション」と「ファンドレイジング」

<今までの活動の整理>

2019年

課題の棚卸
ビジョン・ミッション再形成

2021年

計画の検討
ワーキングチーム公募

2022年

計画の策定
課題の優先順位と時間軸

2022年

計画の実行
ワーキングチーム公募

自発性	ファシリテーション	ファンドレイジング
理事“ <u>有志</u> ”	ホワイトボード ミーティング ひたすら発言を“ <u>意識</u> ”	ポジショニング 明確化 <u>自団体の潜在力分析</u>
会員“ <u>有志</u> ”	「分科会」形式 委員会活動／人材養成／組織運営 ＜＜関心あるテーマで分かれて、共感& <u>仲間感</u> を醸成＞＞	潜在的協力者 の発掘
(理事会)	構造化のスキル 曖昧な部分を小さく絞って 明確化し、認識を揃えていく	共感メッセージ力 ビジョニングワークショップ 自分事として捉えて もらうための工夫
会員“ <u>有志</u> ”	「円卓会議」模倣 <u>「聞くだけ」でも大歓迎</u> 人数制限なし	コミュニケーション ツールの活用 <u>関わり度の階層化</u>

自発性を大切にする、私なりの理由

- ・市民社会の成熟を願う（共同募金という仕事柄）
- ・人権はシチズンシップで守っていく

ぐんまパソコン倶楽部 と 桐生市医師会 のコラボ







【赤い羽根共同募金・助成担当レポート】

視覚障害者自らが進めるICT化～PC教室とエンディングノート

<https://www.akaihane-gunma.or.jp/reports/4231/>



点字が読めない視覚障害者

点字の識字率は1割程度。
公的支援によるPC教室もあるが、
受講が継続しない人が多い

“情報保障”＝知る権利の保障

行政にお願いし続ける

自分たちでできることを始める

視覚障害者本人が教えるPC教室

「エンディングノート」を自分で書きたい

本人の身内にまかせる

自分の人生に自ら向き合ってほしい
Excel版エンディングノート試作

人の権利は
シチズンシップで
人が守る

生まれる場所 あそびの

「お客様」時代の
公共マネジメント

西川正



お客様さんで
いるって
楽だけど
ちよつと
さびしい
よね

松田妙子「子育てひろば『ふりっじ@roka』」



西川正氏（コミュニティワーカー、NPO法人ハンズオン埼玉 副代表理事）

あそびの生まれる場所 「お客様」時代の公共マネジメント

自分で決めたという実感を持つことについては、人は自ら責任を負う。だからなんとかしようとして自然に動く。他者のせいにしない。

自分がこの社会をつくる（変える）当事者になれるという実感を、人々が持てるようにすること。異なる意見を持つ者同士が、合意を形成しつつ共に動くこと。

そのような社会のあり方を「新しい公共」または「市民的公共性」あるいは「市民社会」と呼んだ。

（しかし、社会は真逆に進んでいる…）

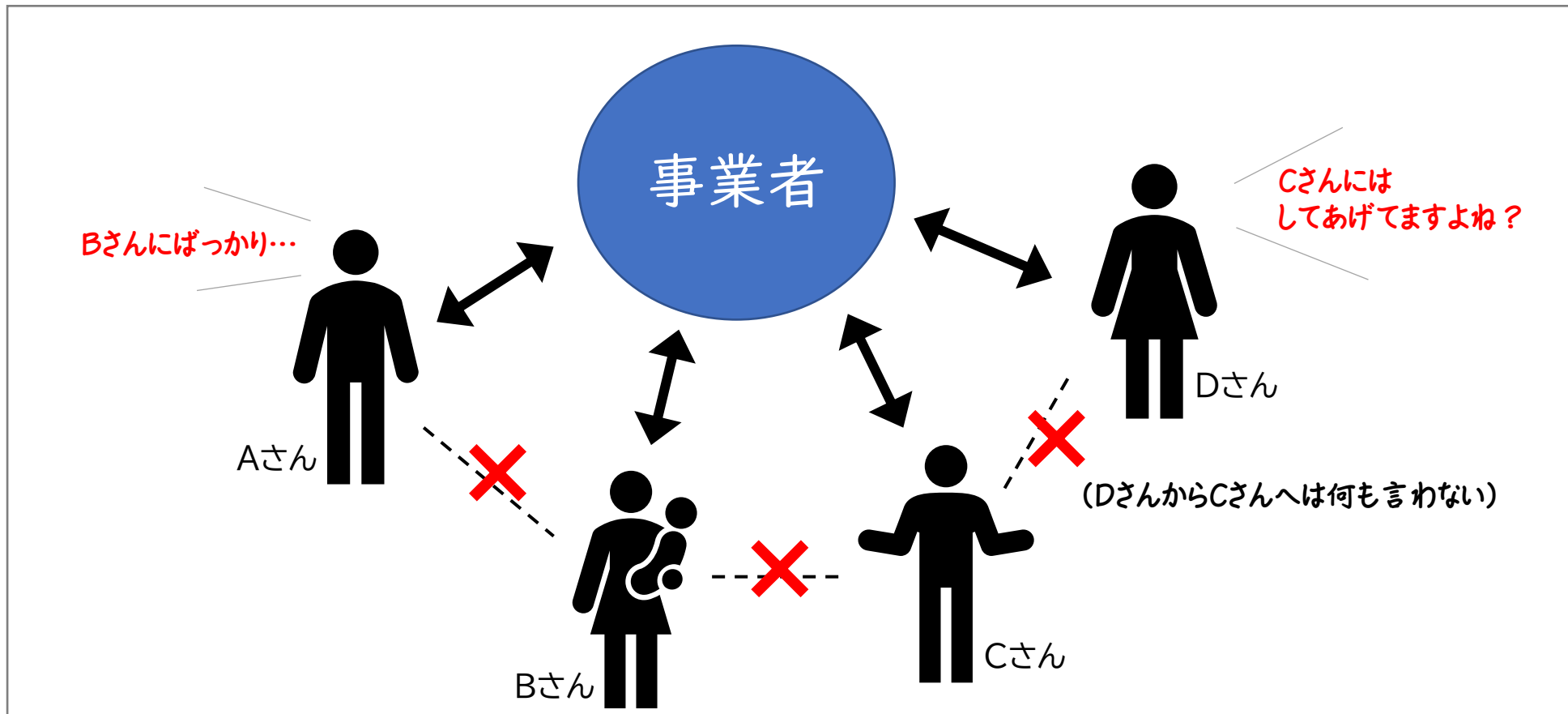
「新しい公共」が目指した2つの流れ

- ①ものごとの決め方＝公共そのもののあり方
- ②公共サービスの担い手問題 →顧客志向へ

→未だに、意思決定の場面では市民を排除しておきながら
市民の労働力のみをあてにする

→市民はサービスの消費者(お客様)となる

「サービス産業化」が進むと… 問題が起こる → クレーム → 禁止 → さらに小さなことを問題にする…



「サービス産業化が進んだ社会」に慣れ切った今の時代、
「会費って、サービスの対価じゃないですよ？」という常識が、
もはや共通言語としては通じない。



結果に
コミット！

と謳う某社の会員の会費などと混同されてもおかしくない
組織率低下や会員減少に焦り、「会員満足度向上」を謳うと誤解を生む可能性あり

(考え方の一つの提案)

自主的にかかわることの楽しさを体験してもらう機会を
“サービス”として提供しつつ、それをレバレッジポイントとして、
のフリをして
自発性を引き出すようファシリテートをしていく。

自主性を尊重しつつ、オンラインの知識を提供する「TEAMオンライン」の活動

➤ 月2回の定例会「ICTラボ」@zoom

- ・オンライン活用に関するお悩み相談
- ・「次、何やる？」的な作戦会議

➤ 年1回の研修会主催

去年は「ヤングケアラー」、今年は「LGBTQ」

➤ オンライン活用のススメ的資料作成

➤ メタバースde忘年会



アドバイザー
(小川先生)

マネジャー
(星野)



群馬県社会福祉総合センター

【研修動画】20220305いま、知りたい！「ヤングケアラー」Live配信研修

558 回視聴 • 2022/03/08



7



低評価



共有



オフライン



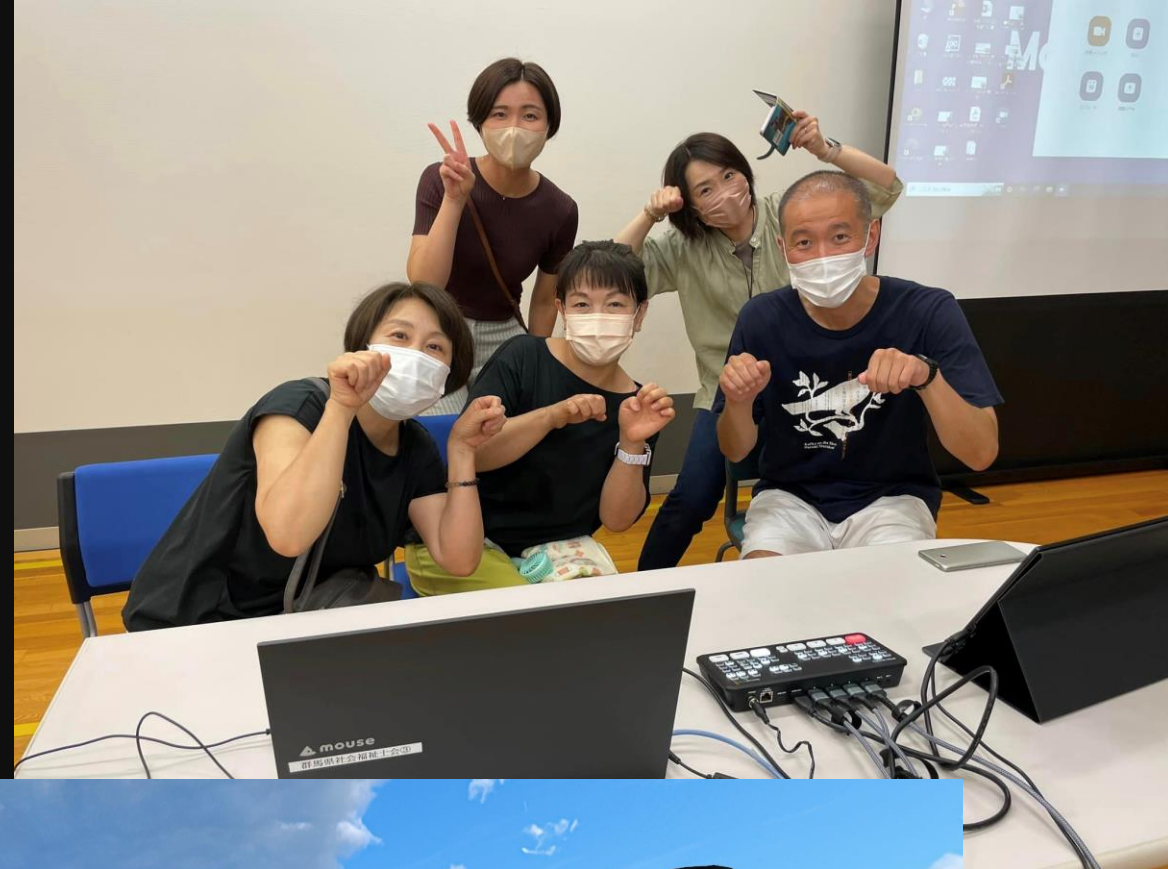
クリップ



保存



...



とにかく、楽しく！
好奇心を持って♪



「ファンドレイジング」の手法を「組織率向上」に生かす

「ファンドレイジング」＝非営利組織の資金調達

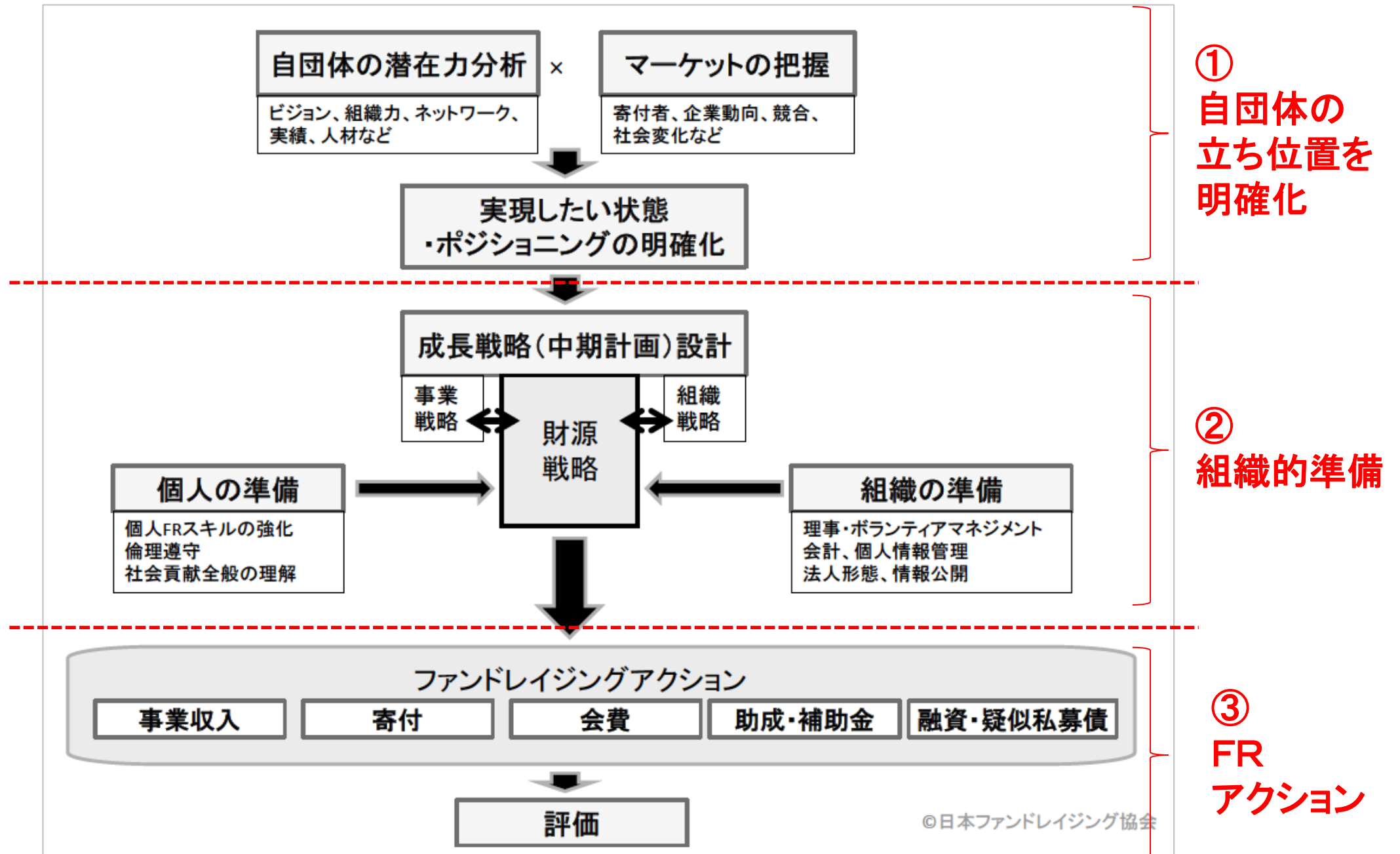
(ファンドレイジング戦略のテッパン)

- ・ステークホルダーの洗い出し
- ・組織や事業の棚卸
- ・組織内外のコミュニケーション改善

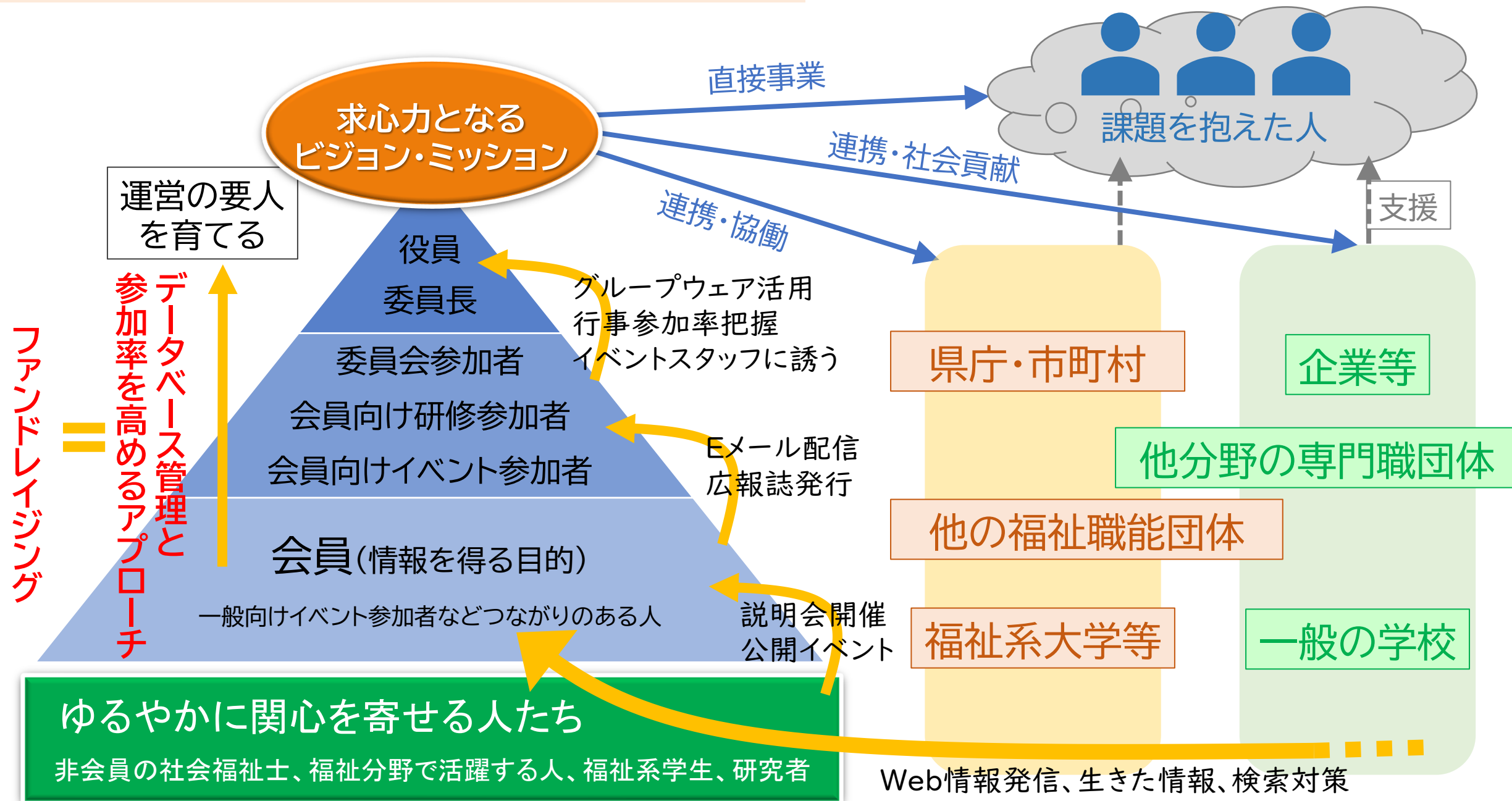
…これらを踏まえて資金調達アプローチ



ファンドレイジング戦略の全体像



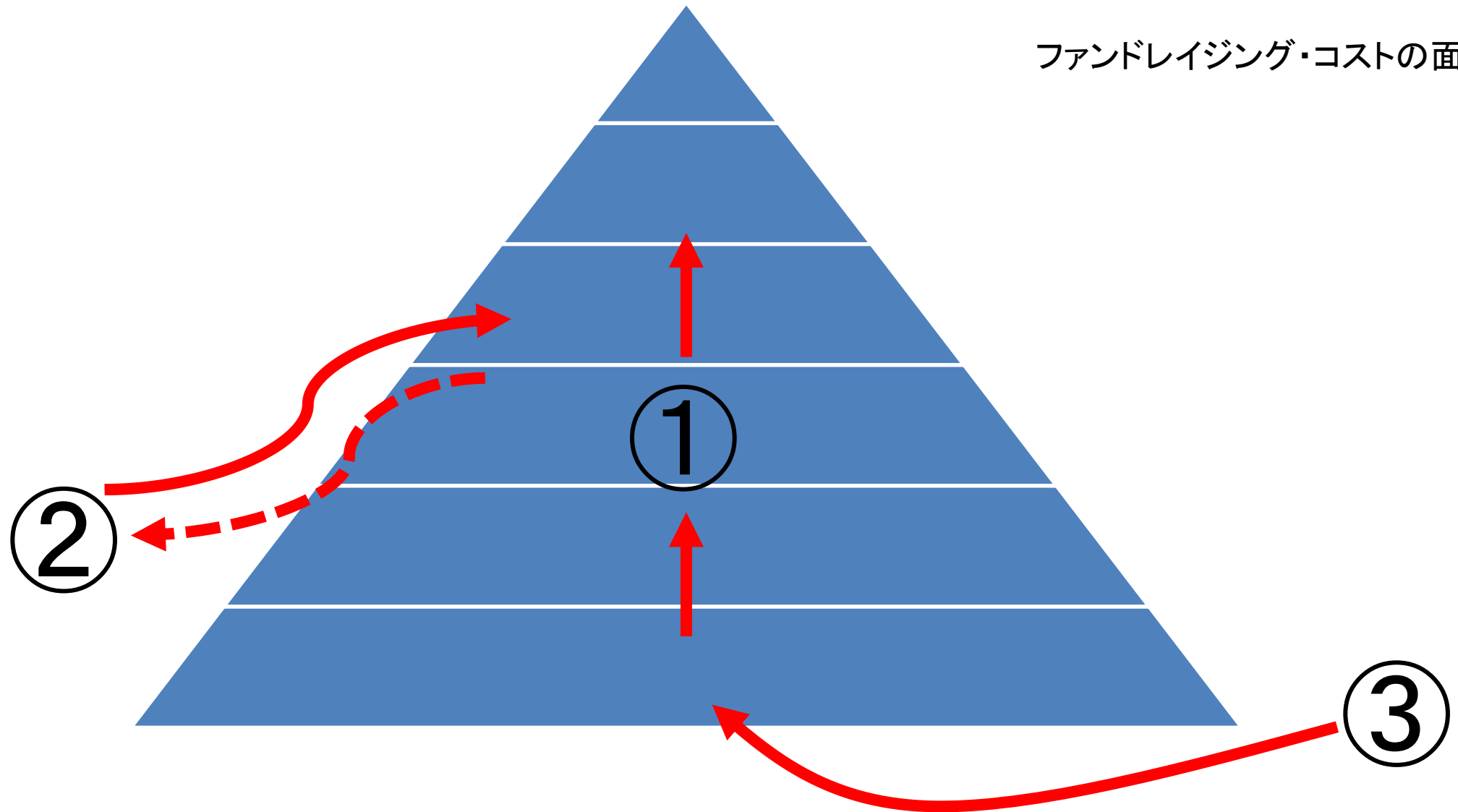
ファンドレイジングの基本<ステークホルダーピラミッド>



ファンドレイジングを行う順番

ファンドレイジングは、①既存 → ②過去 → ③新規、の順

ファンドレイジング・コストの面から



「ファシリテーション」の考え方を「会員の参加促進」に生かす

ファシリテーション (facilitation) とは、
人々の活動が容易にできるよう支援し、
うまくことが運ぶよう舵取りすること。
集団による問題解決、アイデア創造、教育、学習等、
あらゆる知識創造活動を支援し促進していく働きを意味します。

<https://www.faj.or.jp/facilitation/> (日本ファシリテーション協会HPより転載)

ファシリテーターは、チーム活動の外面的なプロセス、内面的なプロセスの両方に関わっていきます。

社会福祉士会に置き換えると…

- ◆会員の「居場所」ができるよう受容する
- ◆会員の能力を引き出して生かす
- ◆結果的に会が発展していく

→意見を受け止め、意識して場に馴染ませる
→その人の興味関心に合った役割をつくる
→人が育つ

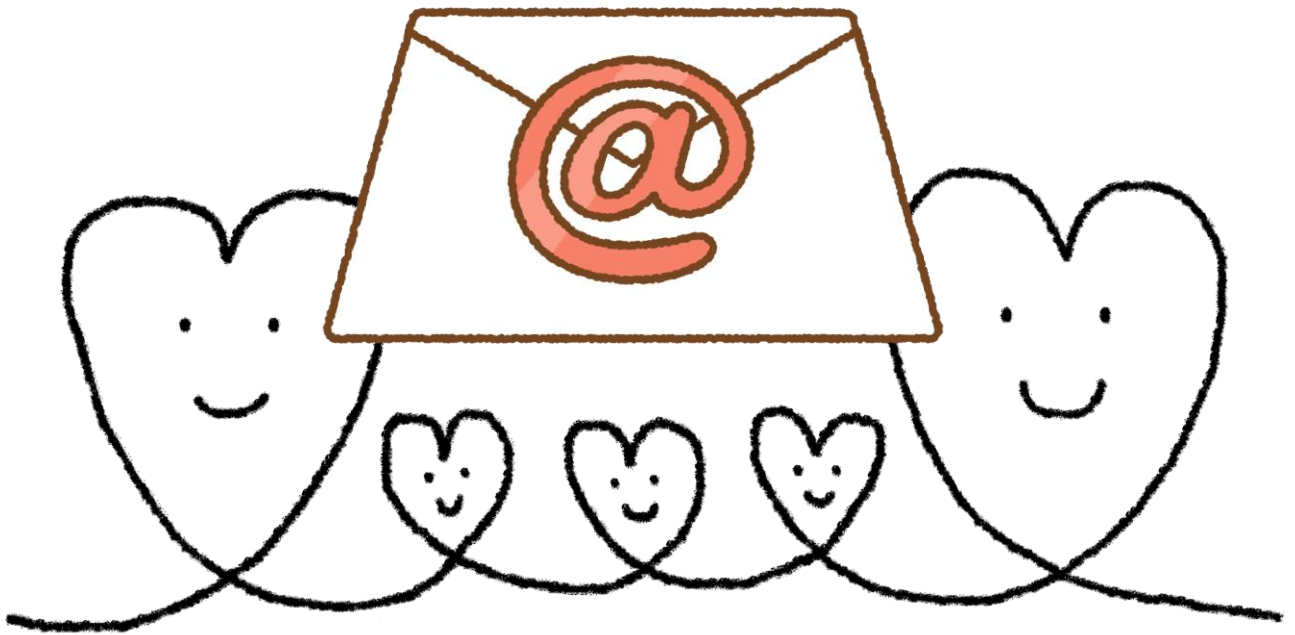


ヒサコ
さん

まとめ

会員の 会員による 会員のための「〇〇〇〇」

「〇〇〇〇」に入る言葉を、活動の意味を、会員各々で見つけてほしい。



群馬県社会福祉士会

Eメール de 情・報・提・供



← ご登録はこちらから！
(Googleフォーム)

始めます！

今まで、年3回の広報誌発行のタイミングで、郵送でお届けしていた群馬県社会福祉士会の各種情報を、

もっと適時に・もっとこまめに・もっと便利に

お届けしたいと思い、会員のみなさまの「Eメール登録」をお願いすることになりました。

- ◆2023（令和5）年度から本格運用します。
- ◆各種研修案内や委員会・地区協議会活動案内など、今までホームページでしか発信できなかった情報をEメールで配信します。
- ◆総会資料や広報誌もEメール配信でペーパーレス！

●ご登録方法●

左上の2次元コードからGoogleフォームでご報告いただくか、Eメールで事務局までお送りください。

ぜひ、ご登録ください！

【お問合せ先】

一般社団法人群馬県社会福祉士会事務局
TEL 027-212-8388
Eメール info@gunma-csw.or.jp

群馬県社会福祉士会・TEAMオンライン主催

福祉と LGBTQ

基礎知識を学び
語り合う会

2023年
3月18日(土)
13時～ @zoom
参加費無料

参加申込は
こちらから



Googleフォーム

講師 間々田久渚氏（一般社団法人ハレルワ代表理事）

第1部「基礎講座」13:00～14:45 <定員80名・申込先着順>

第2部「意見交換」15:00～16:00 <定員30名・申込先着順>

【お問合せ先】 群馬県社会福祉士会事務局 TEL: 027-212-8388 E-mail: info@gunma-csw.or.jp

開催内容

LGBTQに関する知識は、社会福祉士にとって、「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」を理解し実践に生かすうえで欠かせません。
支援の場面のみならず、同僚、友人、家族、自分自身のことについてさえも、この知識が、「人」を理解するうえできっと役に立つはずです。
性の在り方はグラデーションで、LGBTQは生き方の選択です。
福祉分野の仲間と、LGBTQの基礎を学び語り合う場を、オンラインで開きます。
ぜひご参加ください。

- ◆参加対象：群馬県社会福祉士会会員、非会員の社会福祉士、福祉分野で活動している人
- ◆開催日時：2023年3月18日(土)13時開始
- ◆開催方法：オンライン（zoomミーティング）
- ◆申込方法：Googleフォーム入力又はEメール送信（最下欄をご覧ください）
- ◆申込〆切：3月12日(日) ※定員になり次第〆切

プログラムと定員

第1部「基礎講座」13:00～14:45 <定員80名・申込先着順>

第2部「意見交換」15:00～16:00 <定員30名・申込先着順>

講師・ファシリテーター

間々田久渚氏（一般社団法人ハレルワ代表理事）

1991年生まれ。群馬県太田市出身。前橋市在住。
群馬大学教育学部美術専攻卒業。公認心理師。
群馬県男女共同参画センター運営委員、前橋市男女共同参画審議会委員、
前橋市市民活動支援センターアドバイザー。
大学在学時より男性としての社会生活を送るために、周囲へのカミングアウトや男性ホルモン注射等の治療開始。卒業後、民間企業に勤める傍ら、2016年よりハレルワ代表就任。トランスジェンダーの当事者であることをオープンにし、LGBTQの居場所づくりと、地域・学校・企業等での講演活動を行う。



参加申込はこちらから



Googleフォーム

Eメール申込>> info@gunma-csw.or.jp

- ・件名…福祉とLGBTQ参加申込
- ・本文…氏名、連絡先電話番号、Eメールアドレス、
会員番号又は活動分野等

お申し込み後、受付完了メールをお送りします。

- ・ Googleフォーム申込の場合は自動返信
- ・ Eメール申込の場合は数日後に返信

zoomの情報は、開催前日までにお送りします。

【お問合せ先】 群馬県社会福祉士会事務局 TEL: 027-212-8388

群馬県社会福祉士会 LINE WORKS 利用ガイドライン

※当ガイドラインは「暫定版」です。LINE WORKS の運用をしながら随時ガイドラインの内容を修正していきます。予めご了承ください。

1 はじめに

群馬県社会福祉士会の LINE WORKS は、会員の皆さまの意見交換や情報交換、連絡調整のために設置しています。

会員以外は閲覧・使用できるような環境は避けていただきますようお願い致します。

※原則、自宅または自分の端末のみで使用する。やむを得ず、共有の端末で使用了場合は必ずログアウトする。

2 注意点

当会の LINE WORKS は、LINE 株式会社が提供するガイドラインに準拠します。投稿された内容が以下の表現に該当した場合、または該当するおそれがあると判断された場合は、「3 管理」に基づき対応致します。

知的財産権等の権利を侵害する表現

- 他人の著作権、著作者人格権、商標権、特許権、実用新案権、営業秘密を侵害する表現
- 他人のプライバシー権、肖像権、パブリシティ権を侵害する表現
- その他、他人に精神的または経済的な損害や不利益を与え、または他人の権利を侵害する表現

誹謗中傷表現

- 他人を誹謗中傷する表現
- 他人の名誉や信用を傷つけ、または業務を妨害する表現

出会い目的の表現

- 氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス、その他の個人を特定できる情報を含む表現
- 特定のサービスの ID やパスワード等の情報を含み、またはそれらを聞き出そうとする表現
- その他、出会いを目的とする表現

暴力表現・性表現

(ただし、ストーリー上必須な要素であって、当該ストーリーを展開する上で必要最小限の描写となっている場合を除きます。)

- 性行為を直接的に描写する表現
- 性犯罪を具体的に描写し、または美化する表現
- 児童を対象とした性的表現、または暴力的表現

- ・自殺を助長する表現
- ・その他、過度なわいせつ表現、または過度に暴力的、残虐的、グロテスクな表現

反社会的な表現

(ただし、ストーリー上必須な要素であって、当該ストーリーを展開する上で必要最小限の描写となっている場合を除きます。)

- ・違法な薬物、商品、サービス等を宣伝する表現、またはその使用を助長、奨励する表現
- ・法令または公序良俗に反する表現、またはこれらに反する行為を助長、勧誘する表現

営利目的の表現

- ・特定の商品やサービスを宣伝することを目的とする表現
- ・その他、経済的な利益を得ることを目的とする表現

その他の表現等

- ・宗教、文化、民族性、国民性を攻撃し、強い不快感を与える表現
- ・政治的活動、宗教的活動、または特定の団体への勧誘を含む表現
- ・他人に関する虚偽の情報を含む表現
- ・他人になりすまして投稿する行為、または他人やその商品、サービス等と誤解されるような行為
- ・連続で同じ内容を投稿する等、本サービスの運営を妨げる行為
- ・人種、国籍、信条、性別、性的嗜好、社会的身分、門地、職業等による差別表現や差別を助長する表現
- ・他人に著しい嫌悪感や不快感を与える表現
- ・本サービスの趣旨に合致しないと当社が判断する表現
- ・その他、当社が不適当と判断する表現

3 管理

群馬県社会福祉士会の LINE WORKS の管理実務は「広報・コミュニケーション委員会」で行い、管理責任は「理事会」にあります。

このガイドラインについて違反が見られた場合は、広報・コミュニケーション委員会の報告により、理事会から当該会員に警告を行います。

改善が見られない場合は、当該内容の削除、アカウントの停止・または削除を行います。

なお、会員等が群馬県社会福祉士会の LINE WORKS を利用し、その投稿等に起因する会員間のトラブルには、理事会及び広報・コミュニケーション委員会は原則として関与致しません。



登録マニュアル@群馬県社会福祉士会
Ver1.00

【利用申請】

群馬県社会福祉士会ホームページまたは下記 URL・QR コードから「LINE WORKS 利用申請」を行う。

LINE WORKS 利用申請フォーム URL

<https://forms.gle/ZsTjXsYUUPsctMRZA>



※委員会・地区協議会での利用申請は、別途群馬県社会福祉士会事務局までご相談ください。

【受付受理と本人確認】

群馬県社会福祉士会事務局にて、申請者の会員番号と氏名で本人確認を行います。

【申請時のメールアドレスに招待メールが届く】

群馬県社会福祉士会さんがあなたを LINE WORKS に招待しています。

加入は以下 URL から操作してください。

<http://works.do/〇〇〇〇〇〇>

上記のメッセージが、利用申請をフォームに入力したメールアドレスに届きます。

以下の手順を参考に登録作業を行ってください。

【LINE WORKS 登録の手順】

(1)群馬県社会福祉士会事務局から届いたメールに記載されている URL を確認してください。

<http://works.do/〇〇〇〇〇〇> をクリック or タップ

(2)スマートフォン・タブレットの場合で、初めて LINE WORKS をご利用になる場合は「インストール」のご案内がされます。各自インストールいただきますようお願い致します。

◎インストールに際しては下記をご参照ください

[LINE WORKS アプリ(モバイル版)の場合]

https://help.worksmobile.com/jp/topic/start_now/line-works-first-time/how-to-download-line-works-mobile-app/

(参考)[Windows 版 LINE WORKS の場合]

<https://help.worksmobile.com/jp/topic/common/support-environment/how-to-install-line-works-app-for-windows/>

◎インストール終了後、(3)以降の手続きをお願い致します。

(3)「加入する」をクリック or タップ

<PC 画面>



<iPhone>



<Android>



(4)氏名(苗字、名前)を入力します。

<PC 画面>

<

1 ● ●

あなたの名前(姓名)を入力してください。
マイプロフィールに表示される名前です。仕事仲間があなたと分かるように正しく入力してください。

苗字を入力してください。 ×

名前を入力してください。 ×

漢字/ひらがな/カタカナ/半角英数字で80文字まで入力できます。

次へ

© WORKS MOBILE Corp.

<iPhone・Android>

<

1 ● ●

あなたの名前(姓名)を入力してください。
マイプロフィールに表示される名前です。仕事仲間があなたと分かるように正しく入力してください。

苗字を入力してください。 ×

名前を入力してください。 ×

漢字/ひらがな/カタカナ/半角英数字で80文字まで入力できます。

次へ

© WORKS MOBILE Corp.

(5)※重要 **「ID とパスワードで加入する」**を クリック or タップ

<PC 画面>

< 2 >

あなたの携帯番号を入力してください。
入力された携帯番号は認証が完了するとログイン情報としても使用できます。

携帯番号
日本 ▼ ハイフン、スペースなしで入力

携帯番号へ認証番号を送信

携帯番号での認証ができない場合
[ID/パスワードで加入する](#)

© WORKS MOBILE Corp.

<iPhone・Android>

< 2 >

あなたの携帯番号を入力してください。
入力された携帯番号は認証が完了するとログイン情報としても使用できます。

携帯番号
日本 ▼ ハイフン、スペースなしで入力

携帯番号へ認証番号を送信

携帯番号での認証ができない場合
[ID/パスワードで加入する](#)

© WORKS MOBILE Corp.

(6)任意の ID とパスワードを入力します。**※重要 ID とパスワードが必ず「控え」をとってください。**

ID は「〇〇〇〇@csw-gunma」の〇〇〇〇の部分を決めていただくことになります。

<PC 画面>

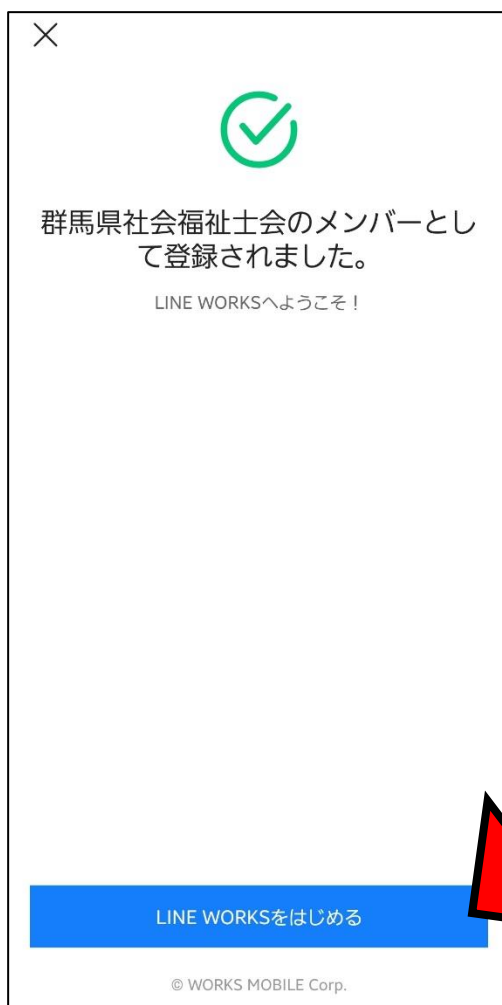
<iPhone・Android>

(7)「LINE WORKS をはじめる」をクリック・タップ

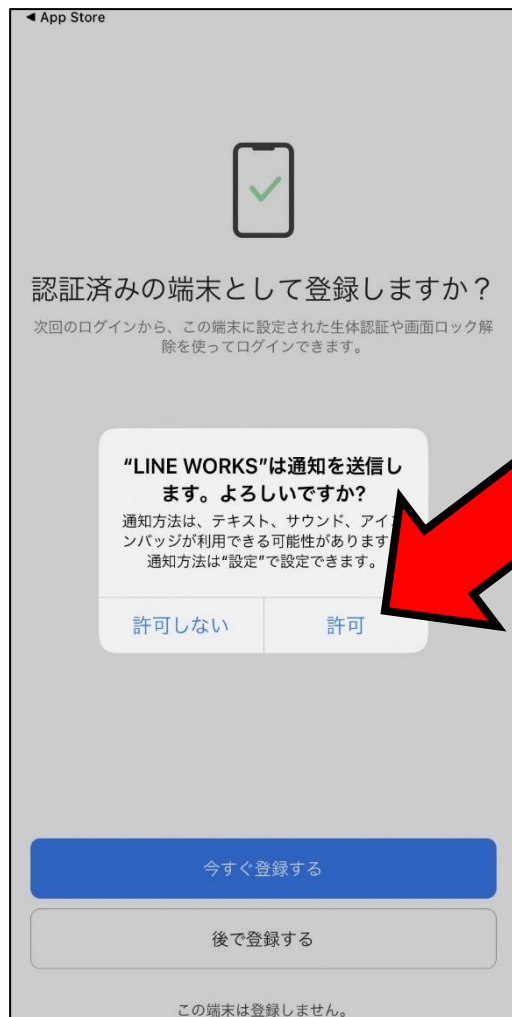
<PC 画面>



<iPhone・Android>

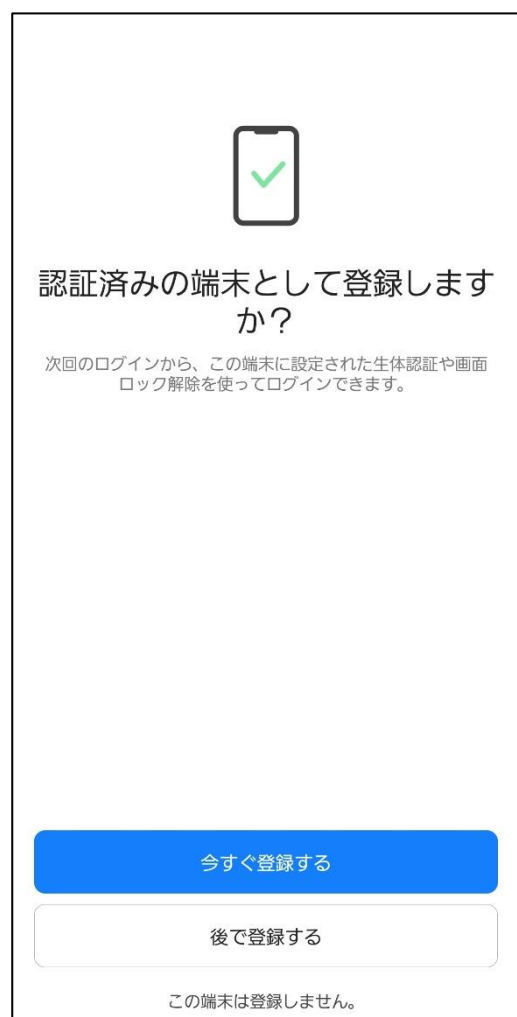


(7-2) <iPhone・Android のみ>



LINE WORKS への通知は「許可」をタップ

認証済み端末としての登録は**任意**です。
登録をすると、生体認証や画面ロック解除を使用して LINE WORKS にログインすることが可能となります



(7-2) <iPhone・Android のみ>



LINE WORKS の機能紹介を閲覧したい場合は「**何ができるの？**」をタップ、機能紹介が必要ない場合は「**あとで見る**」をタップします。

(8)トークルーム(PC)、アドレス帳(スマホ)が展開されます。

<PC 画面>



<iPhone・Android>



(9) 個人情報を追加したい場合

<PC 画面>

画面右上のアイコンをクリック → 個人情報をクリック



<iPhone・Android>

画面右下の「その他」をタップ→「マイプロフィール」をタップ



(10)必要な項目を入力し、「保存」をクリック or タップ。

<PC 画面>

環境設定

個人情報

セキュリティ

通知

掲示板

トーク

カレンダー

アドレス帳

LINE WORKSを紹介し
て共有ストレージ容量を
獲得しましょう！
[今すぐ参加する](#)

マイプロフィール

群馬太郎

姓 (フリガナ)

名 (フリガナ)

ニックネーム

ニックネーム

管理会社/職級

群馬県社会福祉士会

電話番号

携帯番号

日本 +81

+81

ID

gunma.taro@cs-w-gunma

個人メール

個人メール

直接入力

勤務先

勤務する場所を入力してください。

<iPhone・Android>

マイプロフィール編集

保存

群馬

次郎

ニックネーム

群馬県社会福祉士会

(部署なし)

電話番号

会社

電話番号

携帯電話

+81

電話番号

ID/メール

gunma.jiro@cs-w-gunma

個人メール

勤務先

勤務先情報を入力

担当業務

<LINE WORKS の機能>

ビジネス版 LINE と言われる、LINE WORKS には通常の LINE にはない機能が備わっています。

①トーク(通常版 LINE でなじみ)

参考 URL: <https://line.worksmobile.com/jp/feature/talk/>

②掲示板

参考 URL: <https://line.worksmobile.com/jp/feature/board/>

③カレンダー

参考 URL: <https://line.worksmobile.com/jp/feature/calendar/>

④タスク

参考 URL: <https://line.worksmobile.com/jp/feature/task/>

⑤アンケート

参考 URL: <https://line.worksmobile.com/jp/feature/form/>

⑥アドレス帳

参考 URL: <https://line.worksmobile.com/jp/feature/contacts/>

群馬県社会福祉士会で、よく使用している機能は①トーク(組織レベル、グループレベル、個人レベルと様々な活用ができます)、③カレンダー(自分だけではなく、例えば〇〇委員会で1つのカレンダーを共有するというような使い方もできます)の2つです。

色々体験していただく、会員の皆さまの一人一人にあった使い方を見つけていただければ幸いです。

令和5年4月12日作成

群馬県社会福祉士会
広報・コミュニケーション委員会
LINE WORKS 担当

一般社団法人群馬県社会福祉士会
中長期計画アウトライン
2022年－2026年

ぐんまのソーシャルワークが躍動する！



ソーシャルワークで、いろんな「生きる」を支えたい。

私たち社会福祉士は、そう思い続けています。

そして、私たちが所属する群馬県社会福祉士会は、そんな私たちを支える大地であってほしい。

私たちは、いろんな人生に対峙するチカラを、その大地で育み、飛躍していきます。仲間とともに！

この計画の目標

- 「仲間1000人計画」有資格者の加入率25%を目指そう！
- 「学び100%実行」研修やイベントに全会員が年1回以上参加しよう！
- 「社会を動かす組織力」会員の2人に1人以上が委員会や地区協議会の活動に参加して、社会の課題に率先して向き合える組織にしよう！



中長期計画・策定プロセス

1992(平成4)年に発足した群馬県社会福祉士会は、2022(令和4)年に30周年を迎えます。

有資格者有志が思いを寄せて立ち上げた当会ですが、年を重ねるにつれ、設立当初の思いが霞み、ソーシャルアクションの礎となるべき組織力が伸びずに活動が停滞してきているのでは…

そんな現状を打開したい！と私たちは心を新たにしました。

2019(令和元)年、危機感を共有した役員有志で中長期計画策定に向けたワーキングチームを発足し、

2021(令和3)年、具体的に計画策定するための検討会メンバーを公募してテーマ別に協議を進め、

2022(令和4)年、「三十而立」の第一歩として、中長期計画をカタチにして、動き出します！



中長期計画・アウトライン

次の3つの項目を柱に、会員が積極的にソーシャルワークを展開し、ソーシャルアクションを起こせる基盤づくりに取り組みます。

会員活動の推進

- ・ 会員支援の仕組みづくり
- ・ 会員が活動しやすい委員会体制づくり
- ・ 交流の場、ネットワークの形成

タイムリーな情報提供や会員支援のためのネットワーク体制を構築することで、地区協議会・委員会活動の活性化を図ります。

人材の育成

- ・ 研修体制の強化
- ・ スーパービジョンの推進
- ・ 人材の活用及び活躍の場の創出
- ・ 次世代の育成

専門職としての視座、専門知識と専門技術を用いて、ソーシャルワーク機能を十分に発揮できる人材を育成します。

運営体制の構築

- ・ 組織運営体制の強化
- ・ 法人の公益性の向上
- ・ 会員獲得及び財源の確保

当会が担うべき公的責務を果たせる体制を確立し、会員共助だけでなく、社会への貢献・県民への寄与を図ります。

ソーシャルワークの基盤となる組織づくり

中長期計画・タイムライン

どの項目も重要ですが、焦りすぎず、地道な取り組みからコツコツと目標に向かって取り組んでいきます。

2022年～ 計画実行のための「ワーキングチーム」を立ち上げて推進していきます。

会員支援のしくみづくり

(まずは情報のメール配信から)

活動しやすい委員会体制

(まずは現行委員会の見直しから)

会員獲得及び財源の確保

(例: 若年層入会キャンペーン)

組織運営体制の強化

2023-24年～

会員交流・ネットワーク形成

人材の活用・活躍の場の創出

研修体制の強化

スーパービジョンの推進

2025-26年～

次世代の育成

法人の公益性の向上

会員のソーシャルワーク支援
ソーシャルアクションの積極展開

中長期計画のベースにあるもの

中長期計画で大切にしたいのは、策定や実行のプロセスです。

これまで、会員アンケートの実施や、検討メンバーを会員から公募するなど、会員の声を大切にする工夫をしてきました。

計画策定の検討会で設定した3つの「分科会」で議論された課題や企画アイデアなどを、

今後、計画を実行していく段階で迷ったり悩んだりした際に立ち戻る“ベース”として、ここに記します。

分科会① 人材育成・研修のあり方

ベース①

社会福祉士会には、個々の会員が明確なイメージ（社会福祉士像）を確立するためのプロセスを支援するという大切な役割があります。

社会状況に応じた効果的、また多様性に順応した学習環境の確立、教授法や学習ファシリテートの提供を図り、多様な人材の研修主催側への参画を促します。

I. 資質向上に向けた働きかけ

- ・既存の各種研修会の体系化
- ・各種研修の質向上
- ・スーパービジョンの実施

II. 多様な人材の登用

- ・会員の活躍の場創出
- ・実践報告の場の創出
- ・出前講座等講師派遣事業の実施

III. 次世代育成

- ・次世代へのPR
- ・ソ協連との共同事業の実施

分科会② 委員会等組織見直し・活性化

ベース②

社会福祉士会に所属して仲間と一緒に活動し、互いに切磋琢磨しながら専門性を高め合うことで、社会福祉士自体の社会的役割も向上します。

委員会等の活動には、会員の研鑽のみならず、人的なネットワーク構築、社会的活動の展開など幅広い役割が求められています。取り組みが組織内外に理解され、会の存在価値を高めていくことが大切です。

I. 社会的価値の向上

- ・活動発表や報告機会の設定
- ・各委員会の活動紹介と理解促進
- ・広報に関する委員会の充実強化

II. 会員の専門性の向上

- ・わかりやすい委員会活動の展開
- ・全会員が会活動に参画できる環境整備

III. 会の組織力の向上

- ・委員会等を、研修部・事業部・運営部などカテゴリー分けして目的を明確化
- ・地区協議会の活動活性化

分科会③ 組織運営・基盤強化

ベース③

社会福祉士会が社会で必要とされるためには、社会からの期待に応え得る基礎体力を養い、“身心一如”な組織となる必要があります。

人材育成・活動活性化・社会的責任、これらの役割をこの会が担っていくためには、基礎的活動の安定実施と、社会貢献活動の具体化、そして公益的な組織となり得る基盤づくり（ヒト・モノ・カネ・情報の確保）が必要です。

I. 社会課題解決型組織への転換

- ・受託事業の整理と強化
- ・自主事業の検討と試行
- ・公益法人化を視野に公益活動の実施

II. 新規会員獲得と継続維持

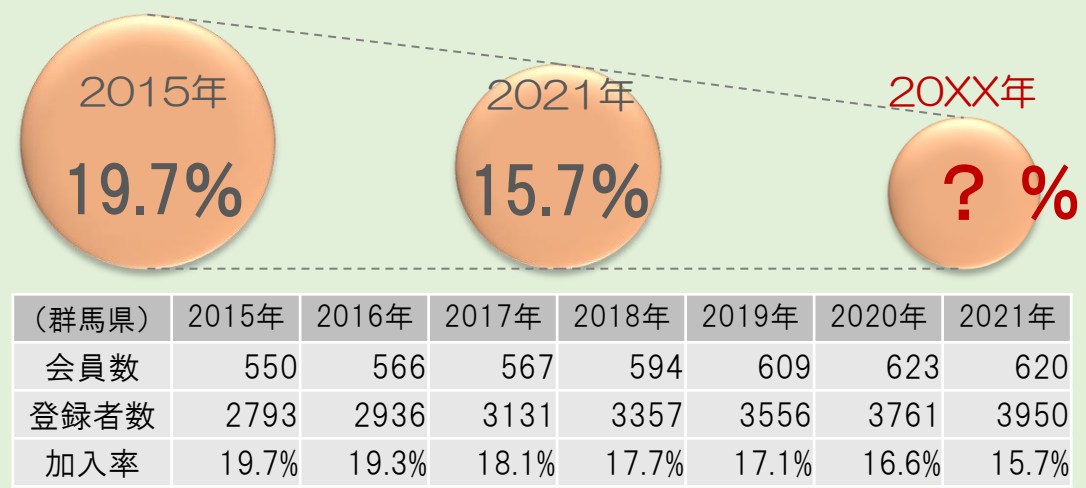
- ・入会希望者にオリエンテーション実施
- ・会員各々に合った活動参加の提案
- ・会員の利便性向上のためのICT活用

III. 企画推進力・事務力の向上

- ・組織内外の人材・資源のデータ集積
- ・事務局機能の強化
- ・理事会のあり方検討

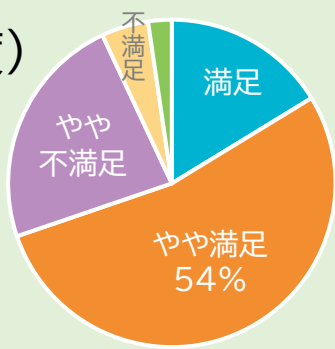
社会福祉士会の現状(データ等)

◎有資格者の社会福祉士会加入率は右肩下がり



◎社会福祉士会の印象(満足度)
(2020年実施・会員向けアンケートより)

「満足」「やや満足」を合わせると約70%ですが、入会年数が長くなるほど満足度が下がる傾向にありました。経験を活かすしくみづくりが必要かもしれません。



◎会員になった理由と、会員を継続している理由
(2020年実施・会員向けアンケートより)

＜複数回答可・回答者数129人＞	入会理由	継続理由	比較増減
専門性を高めたい	97 人	77 人	△20.6%
相談できる仲間を増やしたい	69 人	58 人	△15.9%
さまざまな情報がほしい	85 人	79 人	△7.1%
研修会に参加したい	72 人	66 人	△8.3%
モチベーションの維持・向上	49 人	53 人	8.2%
社会福祉士だから	50 人	40 人	△20.0%
その他	8 人	15 人	87.5%

専門性を高めることを期待して入会し、その後は情報や知識の獲得とモチベーション維持・向上にも期待して継続している人が多いようです。会員が増え、会員同士がつながることでこれらが叶う、と想定してこの中長期計画を作成しています。

中長期計画策定検討メンバー

理 事		公募メンバー
会 長	新木恵一	新井康法
副会長	尾方 仁	飯島久香
副会長	北爪克洋	池田茂雄
常務理事	河村俊一	小川貴之
常任理事	内山恵子	齋藤崇寛
常任理事	高津 努	田村 尚
常任理事	高橋大吾	中越信一
常任理事	高橋知之	松沢 斉
常任理事	野中和英	2021年5月～10月に、 3つの分科会を組織して 検討を重ねてきた メンバーです。
常任理事	星野久子	
理 事	相崎ゆ美	
理 事	石井純子	
理 事	高山啓一	
理 事	吉田智一	

検討メンバー募集時に示した仮ミッション

「ソシやる。」

ソーシャルワークで、いろんな「生きる」を支えたい。
私たち社会福祉士の根っこには、いつもその思いがあります。
そして、私たちが所属する群馬県社会福祉士会は、
そんな私たちの根っこを支える大地であってほしい。
私たちは、その大地に生える草を食べ、そしゃくし、
ふんばりながら、いろんな人生に対峙する。
そんなふうに「ソシやる」私たちを、どうか、大切に、育ててください。



群馬県社会福祉士会は、社会福祉士の課題咀嚼力を高め、
何度も反芻しながら支援エネルギーに変えることを、支援します。